

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用していただくために必ず、この取扱説明書をお読みください。

施工業者の方へのお願い

大切な書類です。施工後は必ずお客様にお渡しください。

本文中の⊘ 禁止、⚠ 注意 の表示箇所は特に重要です。必ずお守りください。
守れない場合、思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

⊘ 禁止

- 本製品は隣地との境界を示す目的に使用するものです。
転落防止を目的とした防護柵や、歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
- 部分的に現場塗装仕上をした場合、年2～3回の水洗いをしてください。
その場合、金属製ブラシや金ペラ等は使用しないでください。表面を傷める可能性があります。
柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とした後で水洗いしてください。
- 洗浄機での洗浄を行う場合は、必ず噴射角を「拡散」にし、目立たない所で試し洗浄をし、問題がないことを確認してから行ってください。絶対に「直噴」での洗浄はしないでください。パネルが破損する可能性があります。
- 真夏の炎天下での洗浄は避けてください。急激な温度変化によりパネルが収縮する可能性があります。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
変形や火災の原因となる場合がありますので、火気を近づけたり車の排気ガス等の高熱が直接当たらないようにしてください。また、シンナーなどの有機溶剤の使用は避けてください。
- 事故などの原因になりますので、むやみな改造、仕様変更はしないでください。
- ケガや事故の原因になりますので製品を破損、変形したまま使用しないでください。
- 破損や事故の原因になりますので、重い物を乗せたり、寄りかかったり、ぶら下がったり、強い衝撃などを与えないでください。

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

運搬及び保管

-  **注意** ●本製品はパネル等に硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
硬質ポリスチレンフォーム材は無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 搬入や施工時の運搬はカド打ちに注意して下さい。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームは80℃以上になると変形する可能性があります。
高温の物や火気がない場所に保管してください。
- 当社汎用プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。
思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
-  **注意** ●本製品の強度基準を超えた条件下での使用は避けてください。
- 正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品の材質は硬質ポリスチレンフォームを使用しています。
施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。
塗材は水性弾性塗材、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。
PSパネルは断熱性が高いため塗材が濃色の場合、直射日光で高温となり蓄熱水蒸気膨れが発生する場合があります。日光を避けるなど、高温にならないための養生を施して塗装をおこなってください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合
[当社規格品] オプション接着剤セット
[当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤) コニシ社 MPX-1・エフレックス／セメダイン社 PM525
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro／ニッタイ工業社 EY-21／コニシ社 エフレックス
※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。
- 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。
- コーキング材は必ず変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。
- 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落としたり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 柱ピッチは、800mm (W08の場合)・400mm (W04の場合) で施工してください。
- 現場貼り仕上用は生地（プライマー未塗装）の状態でお届けされます。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

INDEX

	〈現場貼り仕上用〉
INDEX	1
梱包明細表	2～4
各部名称	5
基本寸法図	6
断面図	7
1.柱建込み前の確認及び部材の組付	8
1.電気配線の有無確認	8
2.端部柱③・中間柱③・角柱へのベース材取付部品の取付	8
3.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合	8
2.基礎工事	8
1.柱の建込み	8
2.基礎の打設	8
3.本体高さ・貼り物重量別 柱仕様一覧	9
4.本体の施工	9～16
1.ベース材取付部品の取付 (柱建込み前)	9
2.ベース材 W08 (W04) の組付 (柱建込み時)	9
3.最下部パネルの組付	10・ 11
4.横棧 W08 (W04) の組付	12
5.パネル2段目以降の組付	13
6.90° コーナー部のパネルの加工	14
7.90° コーナー部のパネルの組付	14
8.横棧上 W08 (W04) の組付	15
9.PSコーナーカバー中間・下 (目地無) の貼付け	15
10.PS笠木B W08 (W04) ・ PSコーナー笠木の貼付け	16
11.PS笠木カバーの加工及び貼付け	16
5.本体系場切詰め200ピッチ	17・ 18
1.柱位置の変更	17
2.部品・ 部材の加工	18
6.本体系場切詰め (フリー)	19～21
1.柱位置の変更	19
2.部品・ 部材の加工	20・ 21
7.照明・ インターホンの配線及び取付	22・ 23
1.取付位置	22
2.配線	22・ 23
3.電線のパネルからの取出し	23
4.照明・ インターホンの取付	23
8.段差仕様	24
1.対応可能段差形状について	24
2.部材の加工及び組付	24
9.部分的に塗装仕上をする場合	25・ 26
10.部分的に軽量セメントモルタル仕上をする場合	26
11.注意事項	26

梱包明細表〈現場貼り仕上用〉

A型端部柱③(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
端部柱 ③		1
φ4.1×38ナベ木ネジ(表札・照明取付用)		6
取付・取扱説明書		1

A型中間柱③(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
中間柱 ③		1

A型角柱(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
角柱		1

横棧W08(1本入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
横棧 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
φ4×13トラスドリルネジ		2

横棧W04(1本入)セット

A型横棧上・ベース材W08セット

名称 部材・部品	略図	員数
横棧上 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
ベース材 W08・W04	 ※図はW08の場合	1
ベース材取付部品		2
φ4×13トラスドリルネジ		12(予備2)

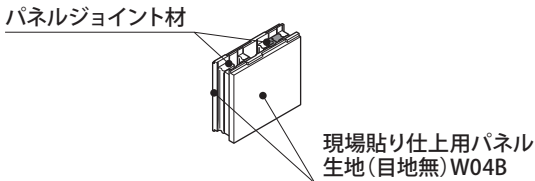
A型横棧上・ベース材W04セット

PSパネル 現場貼り仕上用(目地無)W08B(1セット入)セット

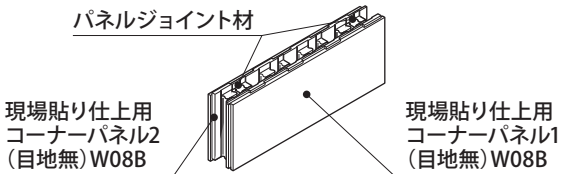
名称 部材・部品	略図	員数
パネル 現場貼り仕上用(目地無)W08B	 パネルジョイント材 現場貼り仕上用パネル生地(目地無)W08B	2
パネルジョイント材		2

梱包明細表〈現場貼り仕上用〉

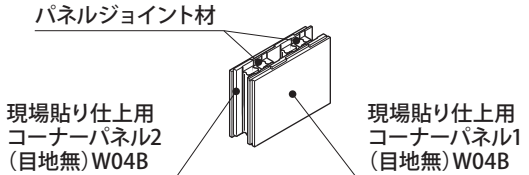
PSパネル 現場貼り仕上用(目地無)W04B(1セット入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
パネル 現場貼り仕上用(目地無)W04B	 パネルジョイント材 現場貼り仕上用パネル生地(目地無)W04B	2
パネルジョイント材		2

PSコーナーパネル 現場貼り仕上用(目地無)W08B(1セット入)セット

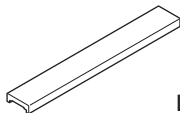
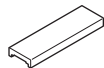
名称 部材・部品	略図	員数
コーナーパネル1 現場貼り仕上用(目地無)W08B	 パネルジョイント材 現場貼り仕上用コーナーパネル2(目地無)W08B 現場貼り仕上用コーナーパネル1(目地無)W08B	1
コーナーパネル2 現場貼り仕上用(目地無)W08B		1
パネルジョイント材		2

PSコーナーパネル 現場貼り仕上用(目地無)W04B(1セット入)セット

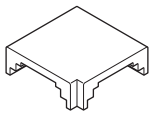
名称 部材・部品	略図	員数
コーナーパネル1 現場貼り仕上用(目地無)W04B	 パネルジョイント材 現場貼り仕上用コーナーパネル2(目地無)W04B 現場貼り仕上用コーナーパネル1(目地無)W04B	1
コーナーパネル2 現場貼り仕上用(目地無)W04B		1
パネルジョイント材		2

PS笠木B 現場貼り仕上用W08セット

PS笠木B 現場貼り仕上用W04セット

名称 部材・部品	略図		員数
	W08	W04	
PS笠木B W08・W04	 L=740	 L=340	1

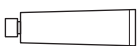
PSコーナー笠木 現場貼り仕上用セット

名称 部材・部品	略図	員数
PSコーナー笠木		1

PSコーナーカバー中間・下 現場貼り仕上用(目地無)(1個入)セット

名称 部材・部品	略図	員数
PS端部コーナーカバー中間・下(目地無)		1

接着剤セット

名称 部材・部品	略図	員数
接着剤	 120ml	1

梱包明細表〈現場貼り仕上用〉

目地テープセット

名称 部材・部品	略図	員数
目地テープ	 50mm×45m	1

汎用プライマー(100ml)・刷毛セット

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(100ml)	 100ml	1
刷毛		1

汎用プライマーセット(1.5Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(1.5Kg)	 1.5Kg	1

汎用プライマーセット(15Kg)

名称 部材・部品	略図	員数
汎用プライマー(15Kg)	 15Kg	1
取扱・取付説明書		1

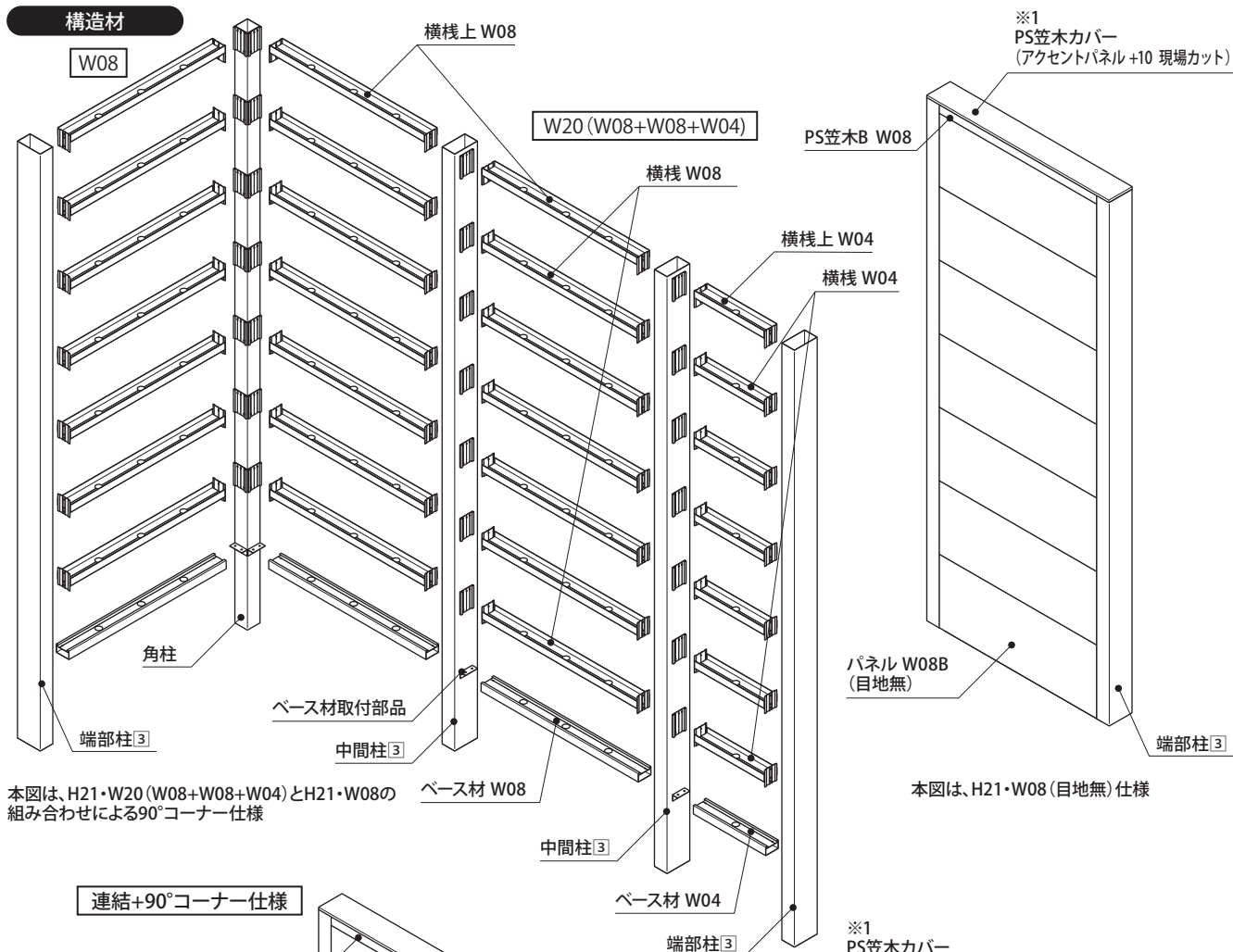
目地テープ・汎用プライマーセットは、部分的に塗装仕上・軽量セメントモルタル仕上をする場合に使用します。

各部名称〈現場貼り仕上用〉

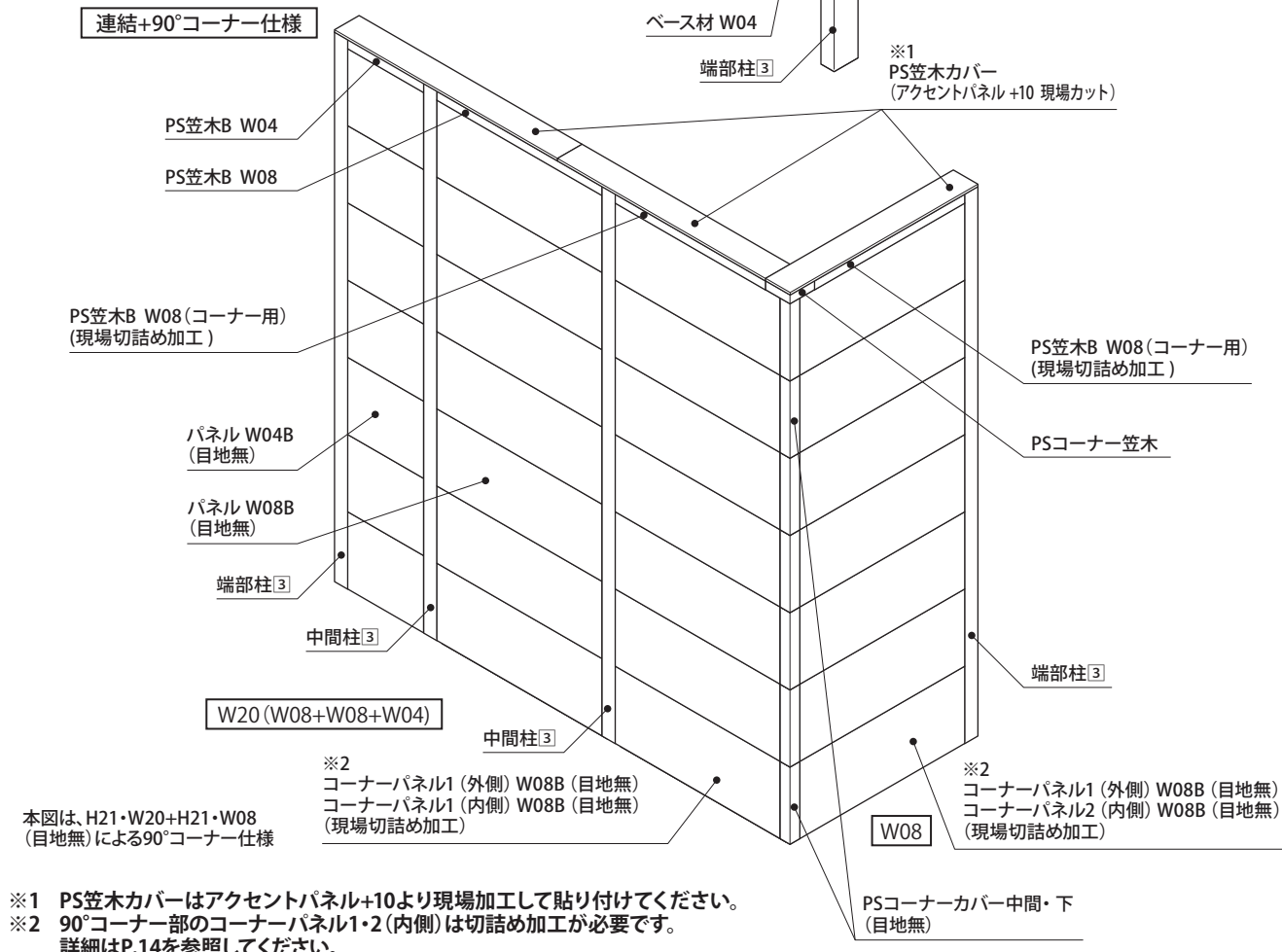
連結+90°コーナー仕様

●本仕様にPS端部カバー・目地有の設定はありません。

独立仕様



連結+90°コーナー仕様



基本寸法図〈現場貼り仕上用（目地無）〉

独立仕様

連結仕様

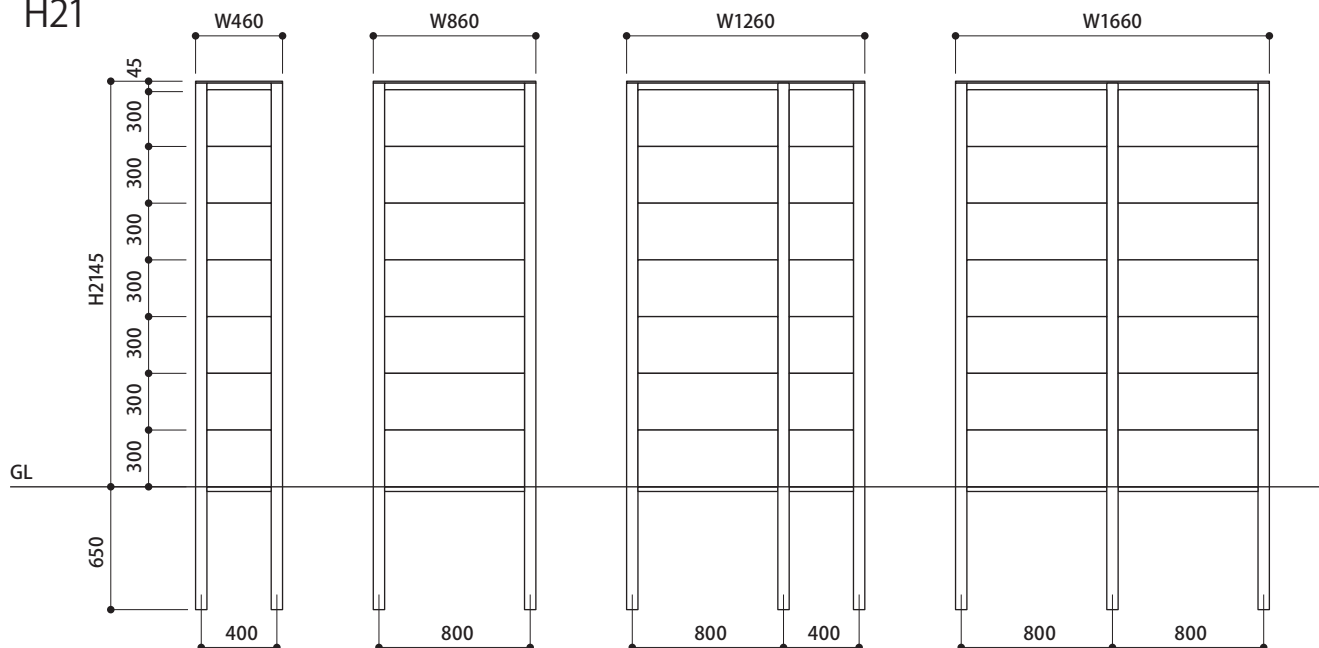
W04

W08

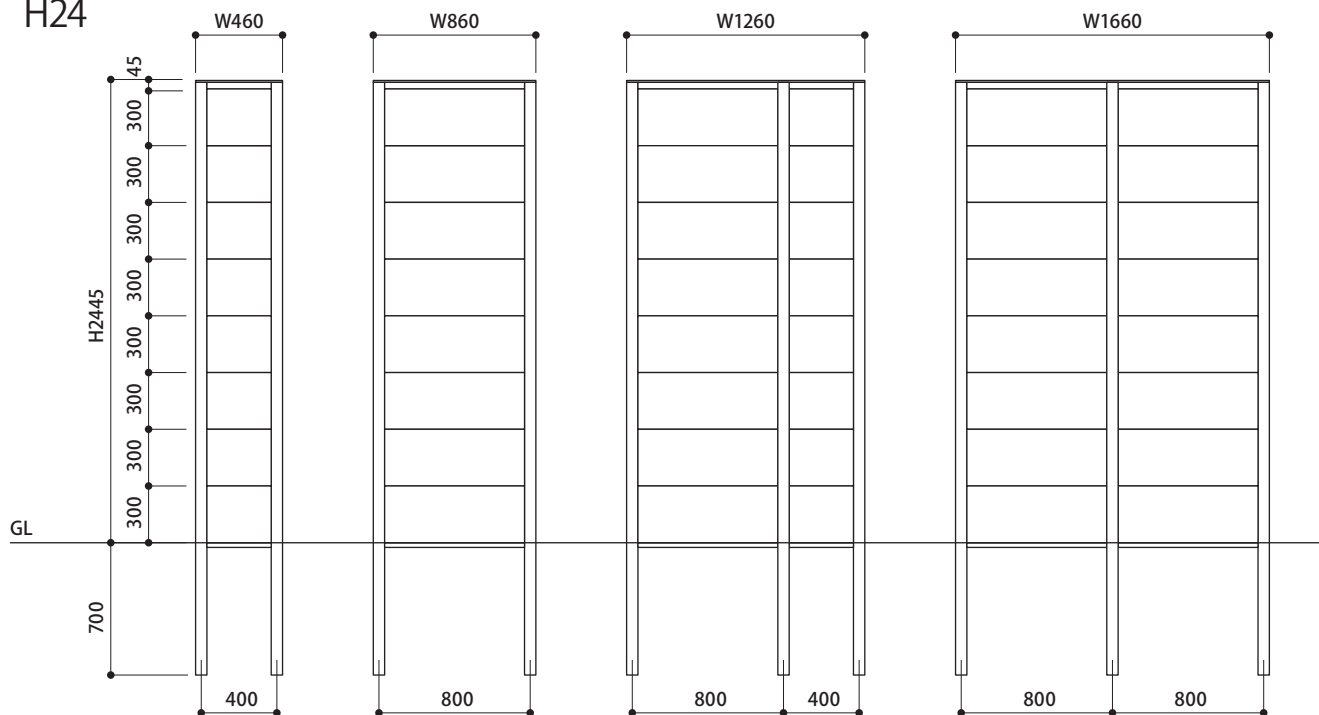
W12

W16

H21



H24



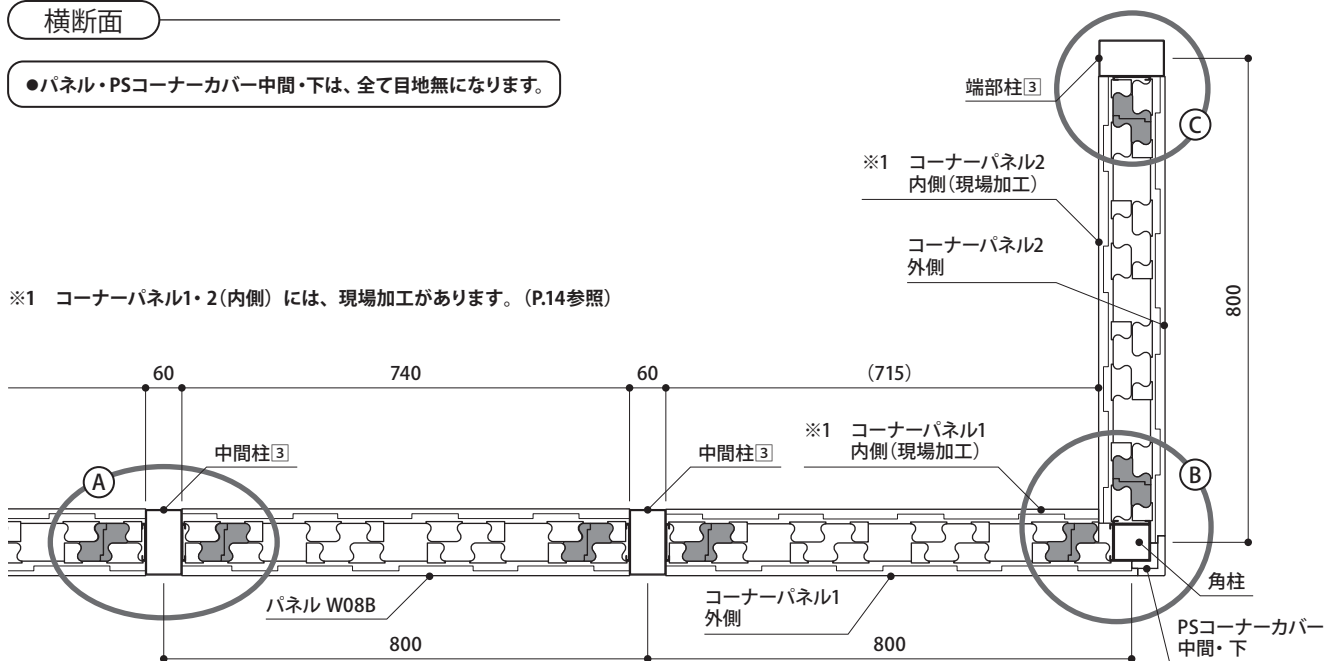
- 現場貼り仕用に目地有の設定はありません。
- 柱③に端部カバーは必要ありません。

断面図〈現場貼り仕上用〉

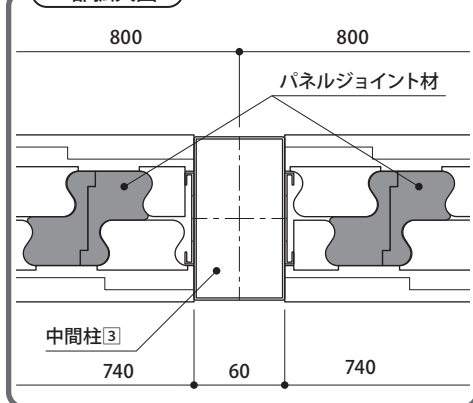
横断面

●パネル・PSコーナーカバー中間・下は、全て目地無になります。

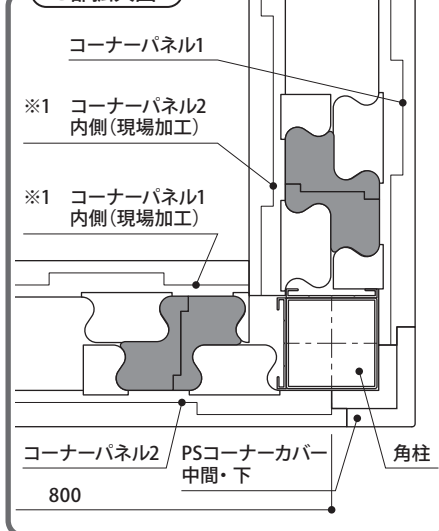
※1 コーナーパネル1・2(内側) には、現場加工があります。(P.14参照)



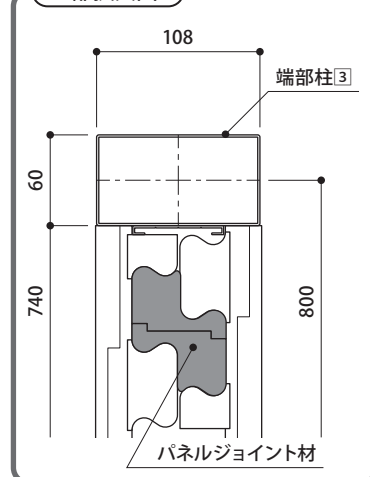
A部拡大図



B部拡大図



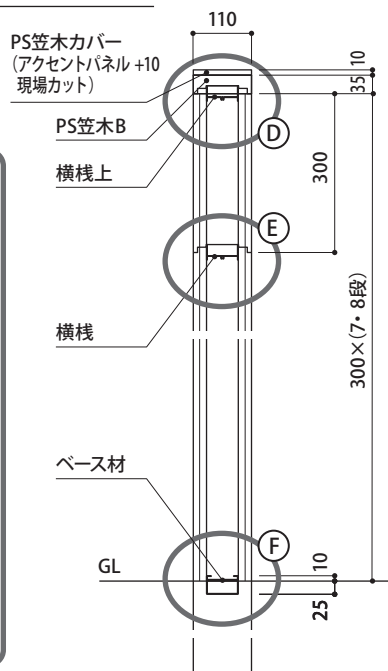
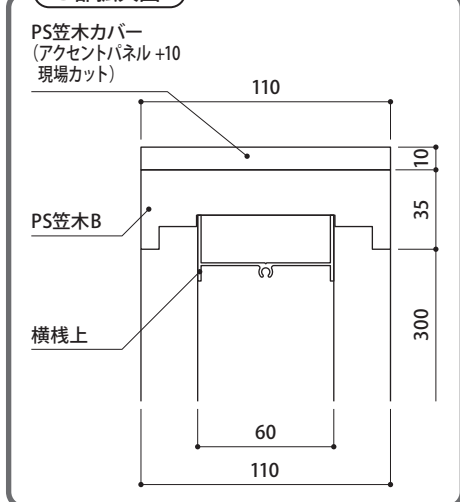
C部拡大図



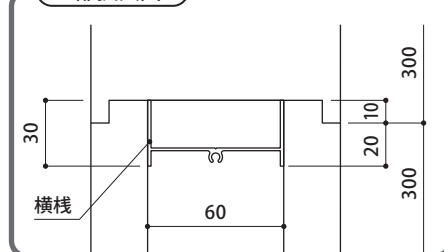
縦断面

H21・H24

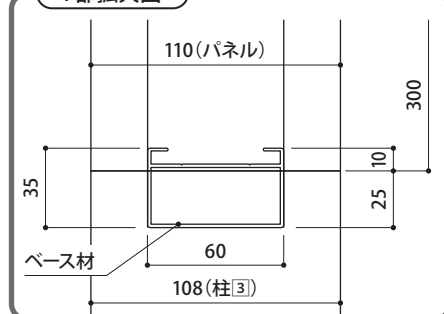
D部拡大図



E部拡大図



F部拡大図



1.柱建込み前の確認及び部材の組付〈現場貼り仕上用〉

⚠ 注意 必ず柱建て込み前に下記を確認してください。

1.電気配線の有無確認 **参照** P.22・23

照明・インターホン等の取り付けにて配線が必要な場合は、柱を建て込む前に必ずP.22・23を参照に行ってください。(柱の建て込み後では、配線できない場合があります。)

2.端部柱^③・中間柱^③・角柱へのベース材取付部品の取付

柱を建て込む前に、端部柱^③・中間柱^③・角柱にベース材W08(W04)を組み付けるためのベース材取付部品を取り付けてください。**参照** P.9

3.片側埋込み仕様 (GLレベル差150mm以上) の場合

補助柱が必要になりますので、補助柱セットに同梱されている取付説明書を参照して施工してください。

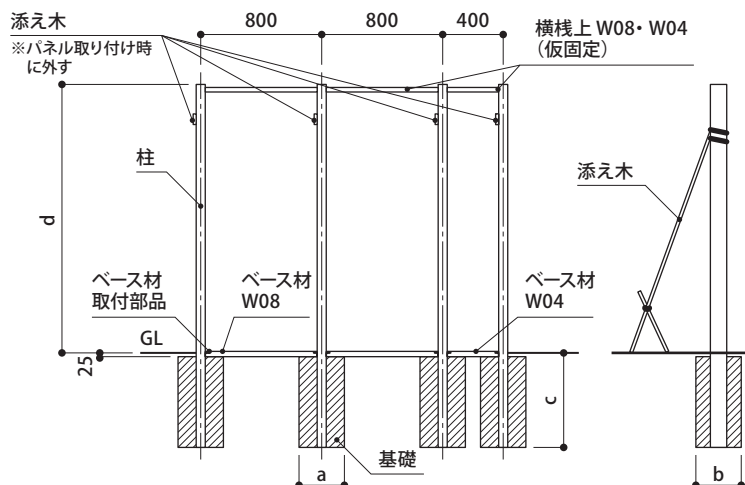
2.基礎工事〈現場貼り仕上用〉

1.柱の建込み **参照** P.9

- 柱の建て込みと同時にベース材W08(W04)を組み付けて、柱ピッチ (800mm・400mm) 出しを必ず行ってください。
この時、柱上部の横棧取付部品に横棧上W08(W04)を取り付ける (仮固定) と柱の水平・ピッチ出しがしやすくなります。
(下図参照)
- 柱の固定は添え木等で柱上部を保持し、下から順次パネル (横棧W08(W04)) を組み付けにて柱を固定後、
上部パネル組み付け時に添え木を外してください。(下図参照)

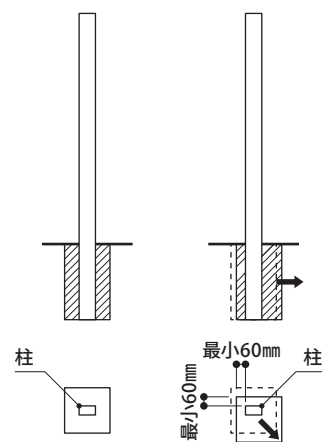
⚠ 注意

- 柱・ベース材W08(W04)の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。
- 柱のピッチが出ていないと、パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。
- 柱の切詰め加工がある場合は、P.17~21を参考に柱の位置及びパネルの配置を調整してください。



●基礎偏芯の場合

障害物や隣地境界線により基礎の位置を変更する場合は、下図を参考に偏芯基礎の工事を行ってください。



最小寸法60mmを限度に基礎の移動を行ってください。

2.基礎の打設

- 柱の建て込み後、下記寸法にて基礎を打設してください。
- 貼付け重量により基礎寸法が変わります。下記表を参照ください。

■基礎寸法

(呼称)	基礎の大きさ		c	柱高さ d
	貼付け重量 55Kg/㎡以下 a×b	貼付け重量 55~75Kg/㎡ a×b		
※ H21	500×500	600×600	650	2135
※ H24	500×500	————	700	2435

※H21の場合、貼付け重量は75Kg/㎡以下
※H24の場合、貼付け重量は55Kg/㎡以下

⚠ 注意

- 基礎打設前に必ず柱とベース材W08(W04)は組み付けておいてください。
打設後はベース材W08(W04)は取り付けできません。
- コンクリート (またはモルタル) には、塩分を含む砂 (海砂) および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤 (凍結防止剤・凝固促進剤・急結剤) などは使用しないでください。アルミなどの金属が腐食する原因となります。
非塩素系または非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 指定基礎寸法は必ず守って施工してください。
- 基礎石による施工は避け独立基礎施工としてください。

3.本体高さ・貼り物重量別 柱仕様一覧〈現場貼り仕上用〉

- 本体高さ・貼り物重量 (㎡当り) により柱の仕様が異なります。(下記一覧参照)
- 柱の寸法は端部柱①②・中間柱①②が60×60、端部柱③・中間柱③が108×60となります。本仕様は端部柱③・中間柱③となります。
- スマートF・ウォール1スパン (W800) で石材等の貼付け面積が10%以下の場合、H1800以下の場合は柱①を、H2100・H2400の場合は柱②を使用してください。
- 塗装済・現場塗装仕上用のH1800以下の場合は端部柱①・中間柱①、H2100・H2400の場合は端部柱②・中間柱②となります。
- 軽量セメントモルタル約10mm厚仕上の場合、目安重量は約18kg/㎡です。

■ 高さ別・貼り物重量別 柱仕様一覧

		スマートF・ウォール高さ									
		H1200以下		H1500		H1800		H2100		H2400	
		端部柱	中間柱	端部柱	中間柱	端部柱	中間柱	端部柱	中間柱	端部柱	中間柱
貼り物重量	15Kg以下/㎡					端部柱①	中間柱①			端部柱②	中間柱②
	15Kg超～55Kg以下/㎡	端部柱①	中間柱①	端部柱①	中間柱①	端部柱②	中間柱②	端部柱②	中間柱②	端部柱③※1	中間柱③※1
	55Kg超～75Kg以下/㎡			端部柱②	端部柱②	端部柱②	中間柱②	端部柱③※1	中間柱③※1	不可	不可

※1 本仕様 (端部柱③・中間柱③) での貼付け重量は、H2100の場合は75kg/㎡以下、H2400の場合は55kg/㎡以下になります。

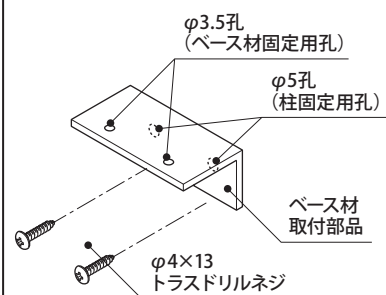
4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

1.ベース材取付部品の取付 (柱建込み前)

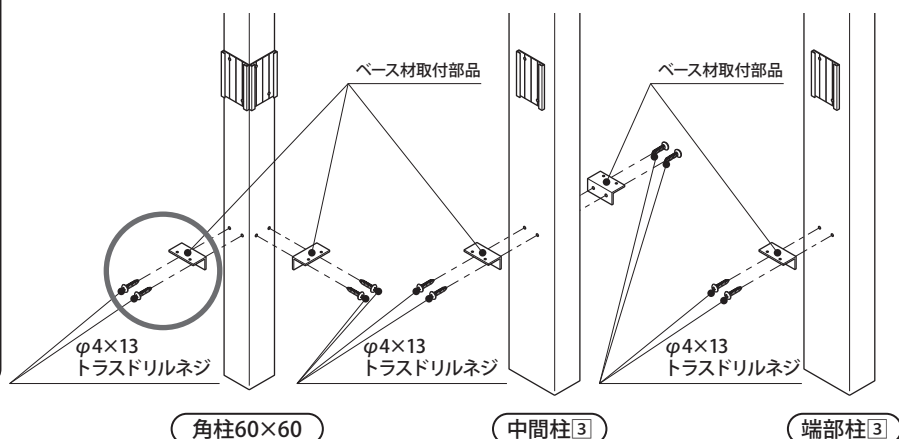
- ① 柱にベース材取付部品のφ5孔に、φ4×13トラスドリルネジで取り付けます。
※ベース材取付部品…端部柱の場合は片側、中間柱・角柱の場合は両側に組み付けてください。

ご注意

ベース材取付部品の向きに注意して柱に取り付けてください。



部材名	梱包名称
端部柱③	A型端部柱③ (1本入) セット
中間柱③	A型中間柱③ (1本入) セット
角柱	A型角柱 (1本入) セット
ベース材取付部品	A型横桟上・ベース材W08セット
	A型横桟上・ベース材W04セット



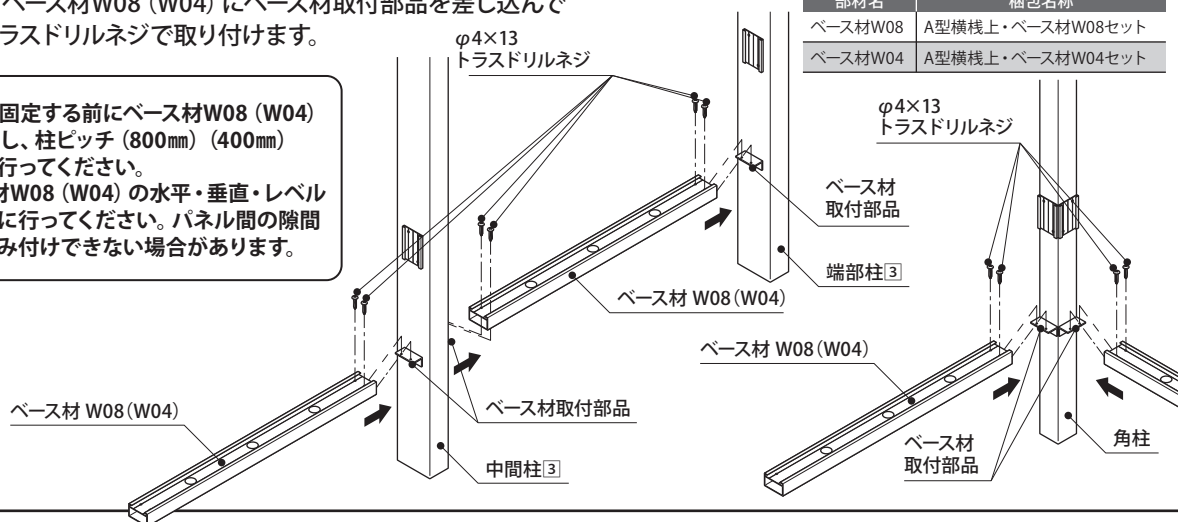
2.ベース材W08 (W04) の組付 (柱建込み時)

- ① 柱を立て、ベース材W08 (W04) にベース材取付部を差し込んでφ4×13トラスドリルネジで取り付けます。

ご注意

- 柱の位置を固定する前にベース材W08 (W04) を組み付けし、柱ピッチ (800mm) (400mm) 出しを必ず行ってください。
- 柱・ベース材W08 (W04) の水平・垂直・レベル出しを正確に行ってください。パネル間の隙間が出たり組み付けできない場合があります。

部材名	梱包名称
ベース材W08	A型横桟上・ベース材W08セット
ベース材W04	A型横桟上・ベース材W04セット



4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

3.最下部パネルの組付

W08パネルの場合です。W04パネルの場合も同じように組み付けてください。

ご注意

インターホン・照明を取り付ける場合は必ずP.22・23を参照し、パネルの組み付けと同時に配線を行ってください。
(パネルの組み付け後では、配線はできません。)

部材名	梱包名称
パネル現場貼り仕上用 (目地無) W08B	パネル現場貼り仕上用 (目地無) W08B (1セット入) セット
パネルジョイント材	
パネル現場貼り仕上用 (目地無) W04B	パネル現場貼り仕上用 (目地無) W04B (1セット・2セット入) セット
パネルジョイント材	

下段より順次下記方法にて、パネルの組み付けを行ってください。

1.パネルの取外し

パネルを箱から取り出し、パネル上側を上にして片側を押さえて反対側のパネルのセンターを持って、上にスライドさせて抜いてください。(上下逆ですと抜けません。)

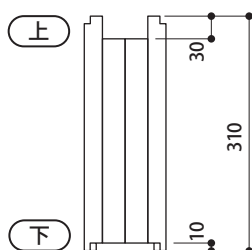
パネルジョイント材がパネルと一緒に上に上がってきた場合は、下に押し下げてください。

パネルが抜けやすくなります。

ご注意

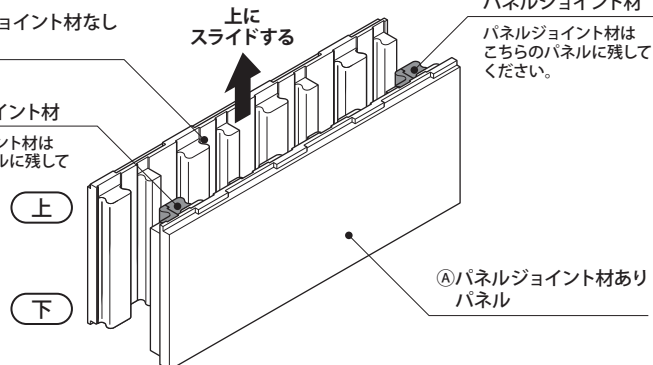
パネル側面図

パネルには上・下があります。
溝が深い (30mm) の方が上になります。
必ず上を上側にして作業を行ってください。



⑧ パネルジョイント材なし
パネル

パネルジョイント材
パネルジョイント材は
こちらのパネルに残して
ください。

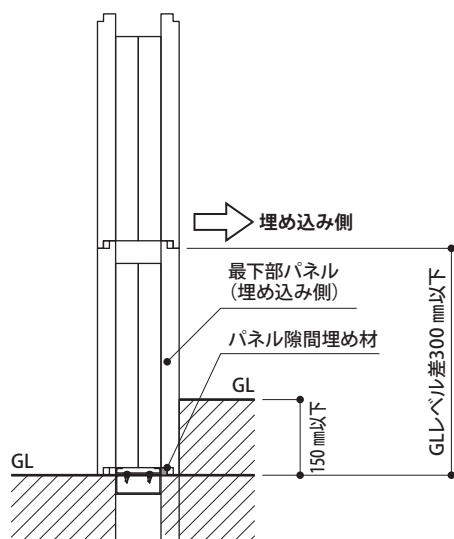


2.最下部パネル底面へのパネル隙間埋め材の貼付け (片側埋込み仕様の場合)

ご注意

パネル側面図

片側埋込み仕様の場合、埋め込まれる最下部パネルの底面埋め込み側にパネル隙間埋め材の貼付けが必要となります。(P.11参照)



ご注意

- GLレベル差は300mm以下にしてください。
- 150mm～300mmの場合は、補助柱が必要になります。
補助柱セット同梱の取付説明書を参照に施工してください。

4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

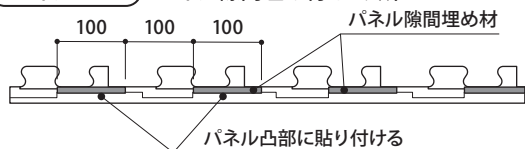
●パネル底面（埋め込み側）へのパネル隙間埋め材の貼付け

- ①パネル隙間埋め材（L=200mm）を半分（100mm）にカットしてください。
- ②カットしたパネル隙間埋め材の剥離紙を剥がし、一番下に組み付けるパネルの下面凸部側面に貼り付けてください。（パネルW08には4ヶ所・パネルW04には2ヶ所）
- ③パネル隙間埋め材を貼り付けたパネルを、埋め込み側にしてパネルを組み付けてください。

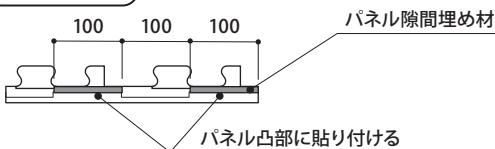
部材名	梱包名称
パネル隙間埋め材	パネル隙間埋め材セット
接着剤	接着剤セット

パネル隙間埋め材貼付け位置

パネルW08 パネル隙間埋め材は4ヶ所



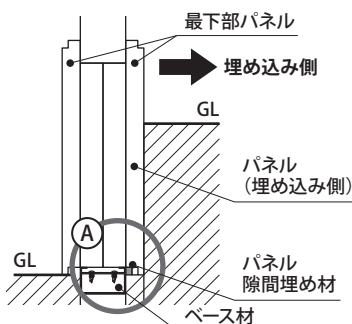
パネルW04 パネル隙間埋め材は2ヶ所



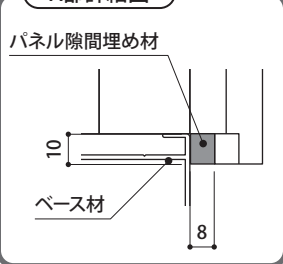
ご注意

※パネル隙間埋め材（10mm×8mm）には向きがあります。逆に取り付けると、ベース材と干渉して組み付けできなくなります。

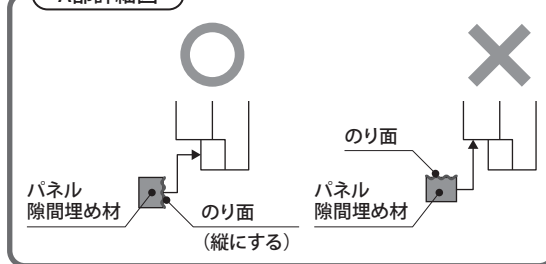
※必ず、パネル隙間埋め材の「のり面」を縦にしてパネル立ち上げ部に貼り付けてください。（下図参照）



A部詳細図



A部詳細図



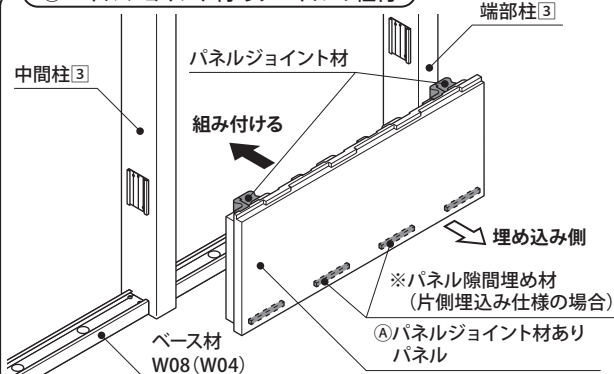
3.最下部パネルの柱への組付

- ①右記参照し、ベース材のフィン部両側に30mm幅に6ヶ所接着剤を塗布してください。（2段目以降、接着剤は必要ありません。）
- ②Aパネルジョイント材ありパネルを柱と柱の間に、接着剤を塗布したベース材W08（W04）の上に載せます。（パネルジョイント材がパネルから抜けた場合は、同じ向き〈upと入った方を上〉にしてパネルの下から入れてください。上からは入りません。）
- ③先程抜いたBパネルジョイント材なしパネルを、上から水平にスライドさせてパネルジョイント材に入れてください。

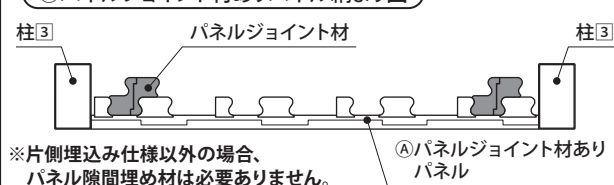
ご注意

パネルが上下逆だと入りません。

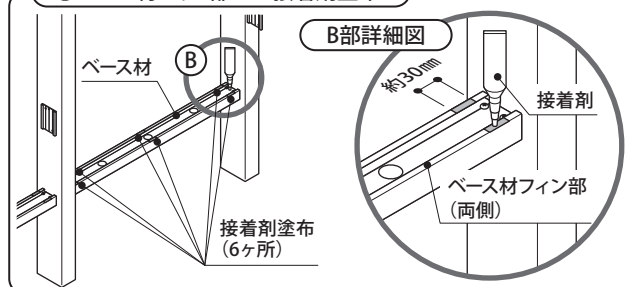
②パネルジョイント材ありパネルの組付



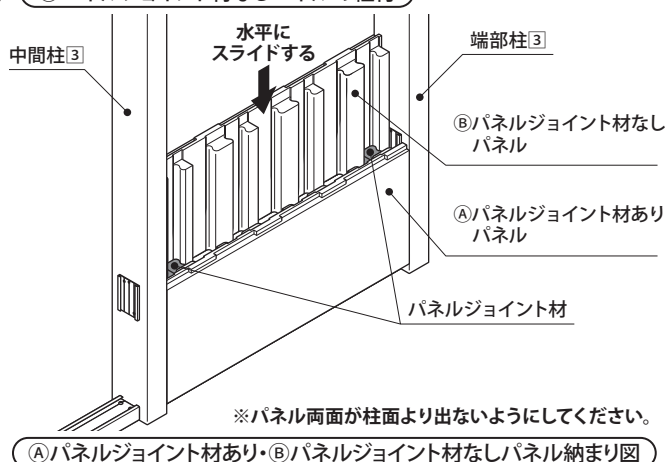
（A）パネルジョイント材ありパネル納まり図



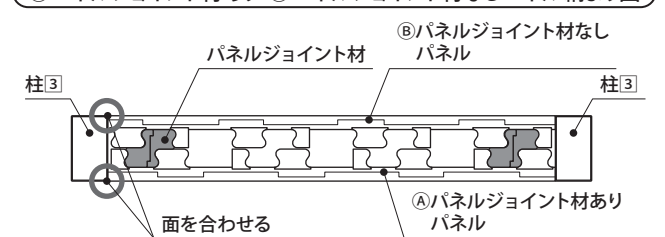
①ベース材フィン部への接着剤塗布



③パネルジョイント材なしパネルの組付



（A）パネルジョイント材あり・（B）パネルジョイント材なしパネル納まり図



4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

4.横棧W08 (W04) の組付

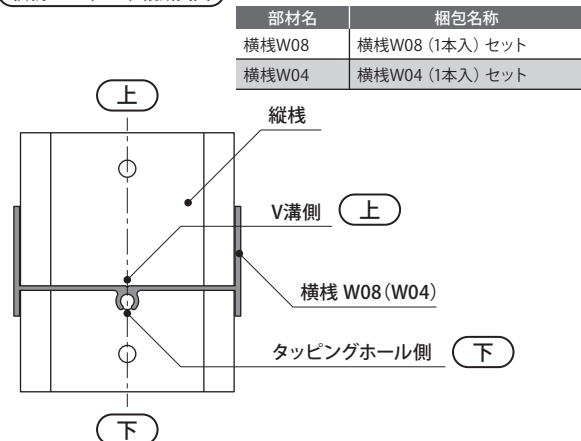
ご注意

- インターホン・照明を取り付ける場合は必ずP.22・23を参照し、パネルの組み付けと同時に配線を行ってください。
(パネルの組み付け後では、配線はできません。)

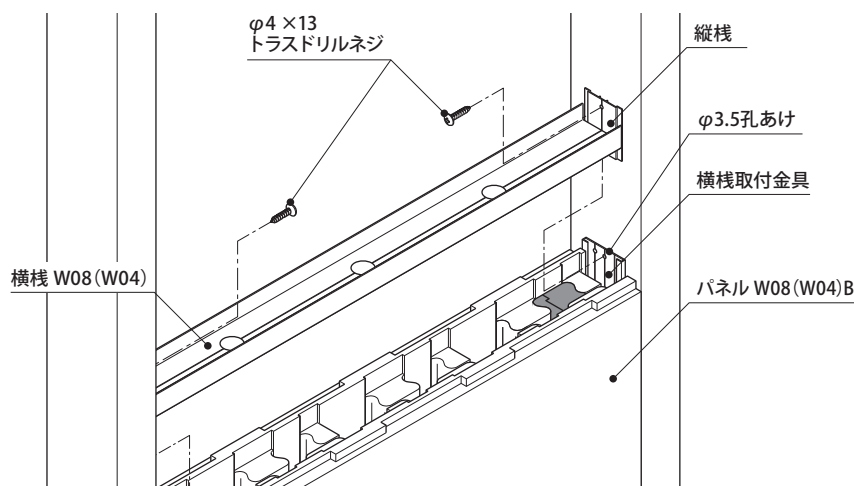
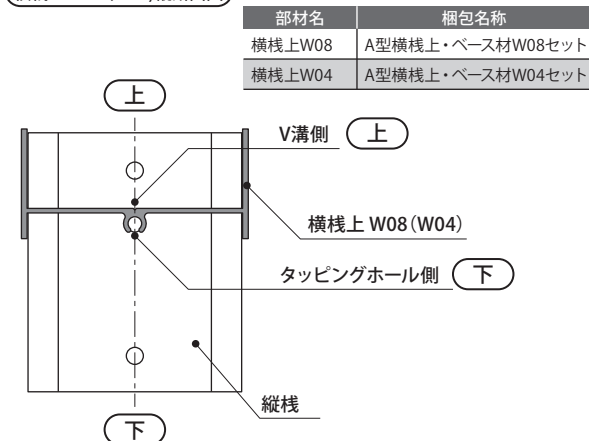
ご注意

横棧W08 (W04) には、横棧W08 (W04) と横棧上W08 (W04) があります。
また、それぞれに向きの上下がありますので、間違わないようにしてください。

横棧W08 (W04) 縦断面図

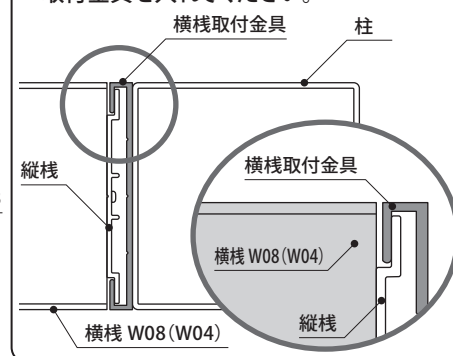


横棧上W08 (W04) 縦断面図

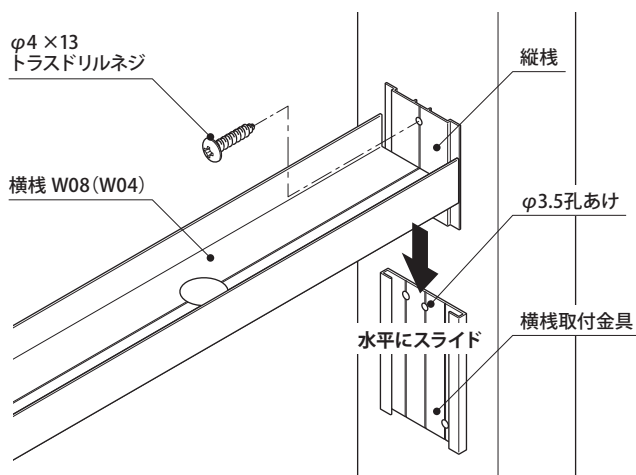


横棧W08 (W04)・横棧取付金具納まり図

横棧W08 (W04) と縦棧の隙間に、横棧取付金具を入れてください。

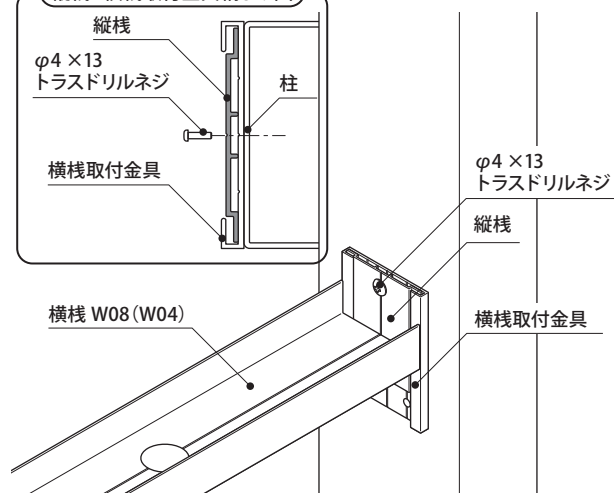


- ①最上部以外のパネルは横棧W08 (W04) で固定します。
横棧W08 (W04) の上下を確認し柱間に上から水平に
スライドさせ、柱に付いている横棧取付金具に入れて
ください。(右納まり図参照)



- ②縦棧にあいている孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、
φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

縦棧・横棧取付金具納まり図



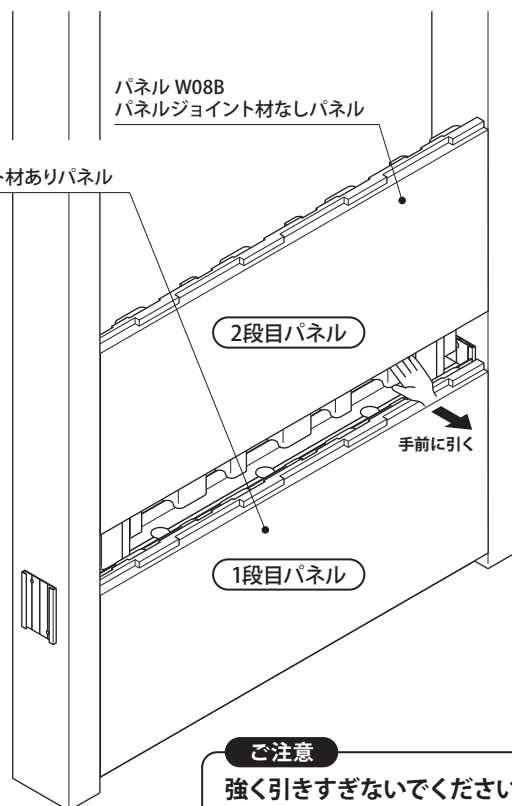
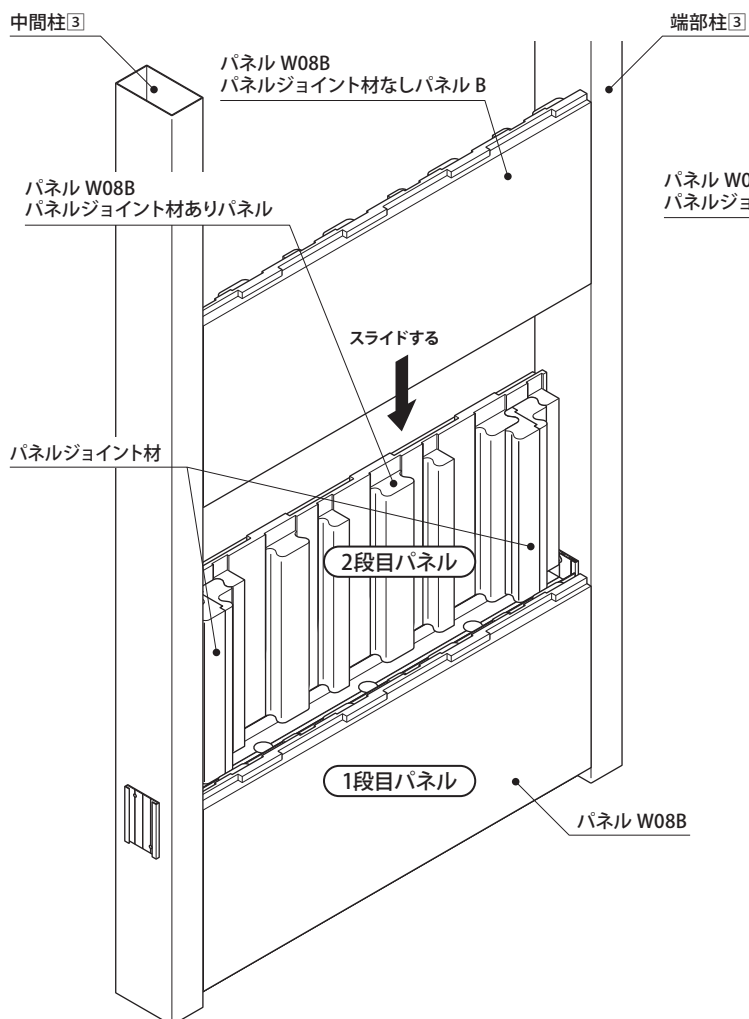
4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

5.パネル2段目以降の組付

W08Bパネルの場合です。W04Bパネルの場合も同じように組み付けてください。

- ①1段目と同じようにパネルの上下を確認し、パネルジョイントありパネルを先に手で押さえ下パネルに載せ（嵌合）、もう1つのパネルを上からスライドさせてください。

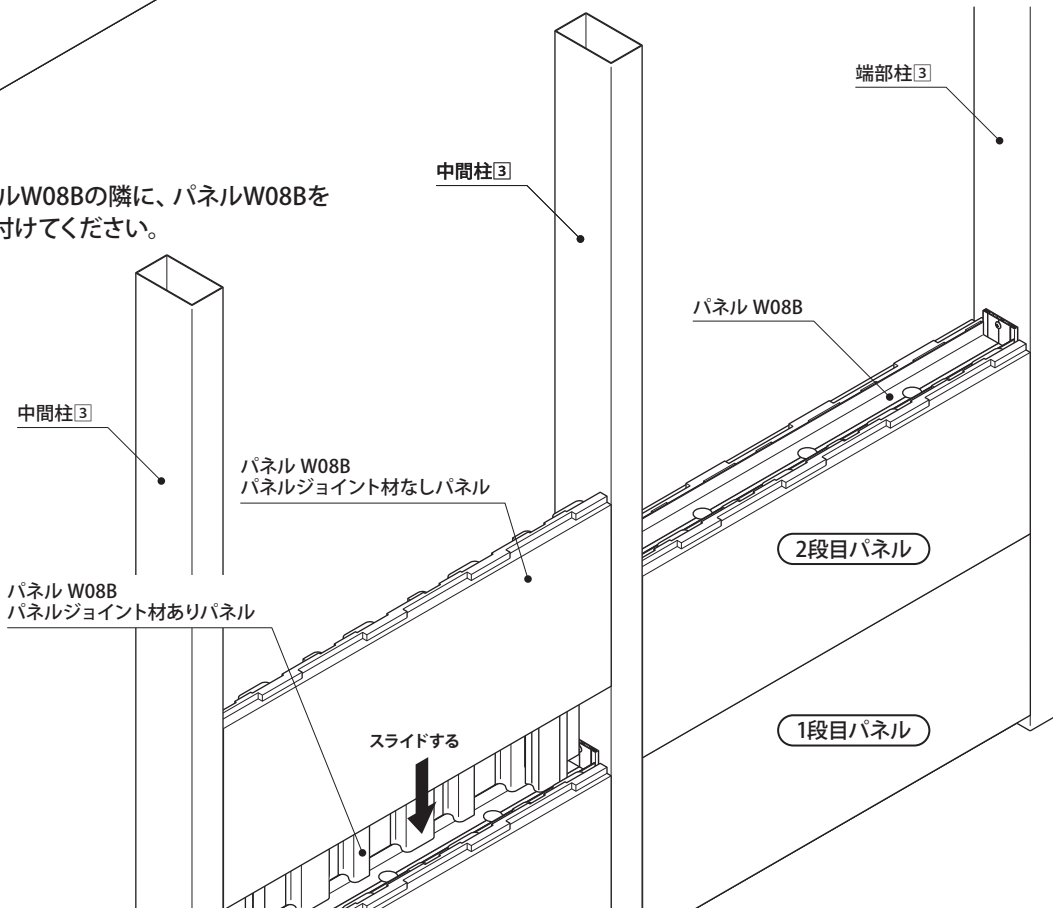
※パネルは、上下嵌合になっています。
嵌合直前に、パネルセンター下部を少し手前に引くと入りやすくなります。



ご注意

強く引きすぎないでください。
破損する可能性があります。

- ②組み付けたパネルW08Bの隣に、パネルW08Bを同じように組み付けてください。



4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

6.90° コーナー部のパネルの加工

- ①コーナー部に使用するパネルは、通常パネルを加工して使用します。下記参照にて、内側のパネルを加工してください。
●外側のパネルは加工する必要はありません。

パネルのカット以外のパネル・横棧の組み付けは通常パネルと同じです。

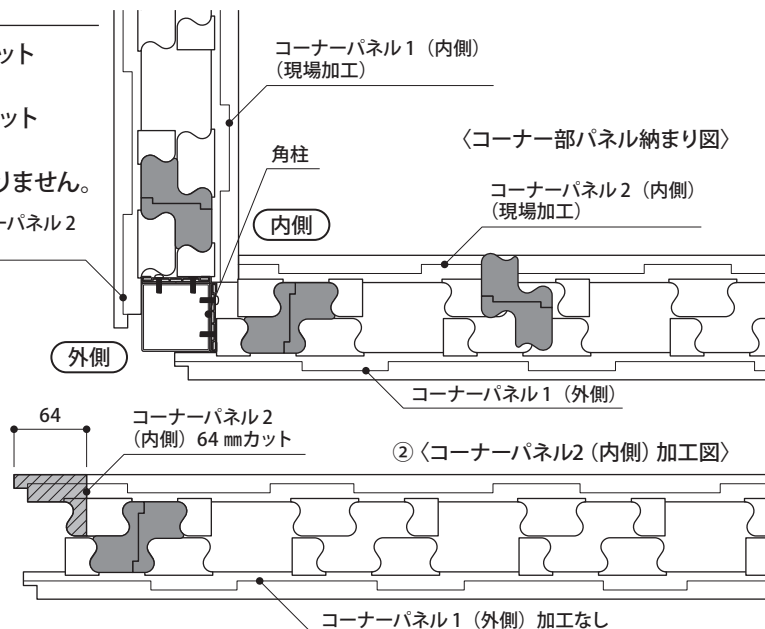
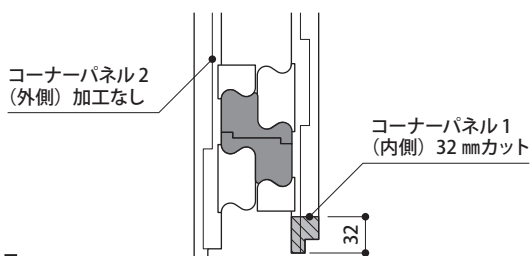
パターン1

- ①先にコーナーパネル1 (内側) の斜線部を32mmカットして取り付けください。
②次にコーナーパネル2 (内側) の斜線部を64mmカットして取り付けください。
●コーナーパネル1・2 (外側) は加工する必要はありません。

ご注意

パネルには向きがあります。
加工する場合、ご注意ください。

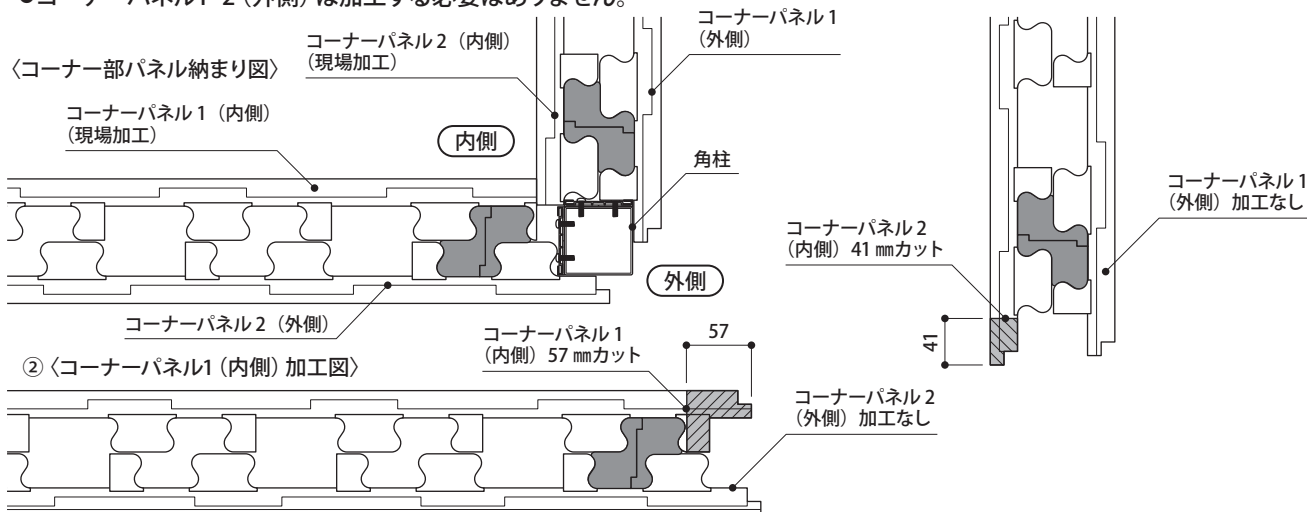
①〈コーナーパネル1 (内側) 加工図〉



パターン2

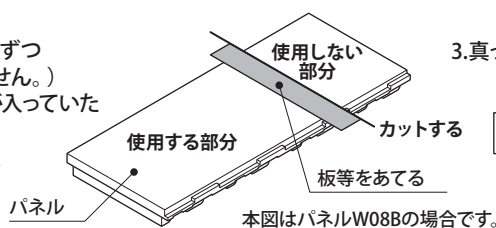
- ①先にコーナーパネル2 (内側) の斜線部を41mmカットして取り付けください。
②次にコーナーパネル1 (内側) の斜線部を57mmカットして取り付けください。
●コーナーパネル1・2 (外側) は加工する必要はありません。

①〈コーナーパネル2 (内側) 加工図〉

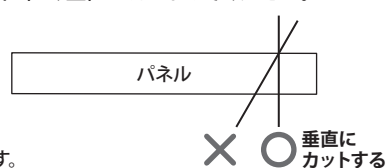


●パネルの切詰め方法

1. パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつカットしてください。(上からは抜けません。)
(カットする時は、パネルジョイント材が入っていた方を下にして置いてください。)
2. 上記にて寸法を出して罫書き線を引き、板等をあてて目の細かいこぎり等でカットしてください。



3. 真っ直ぐ垂直にカットしてください。



本図はパネルW08Bの場合です。

7.90° コーナー部のパネルの組付

- ①通常パネルと同じようにパネルジョイント材ありパネルを柱と柱の間に、接着剤を塗布したベース材に載せます。
②パネルジョイント材なしパネルを、上から水平にスライドさせてパネルジョイント材に入れてください。(P.11参照)

4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

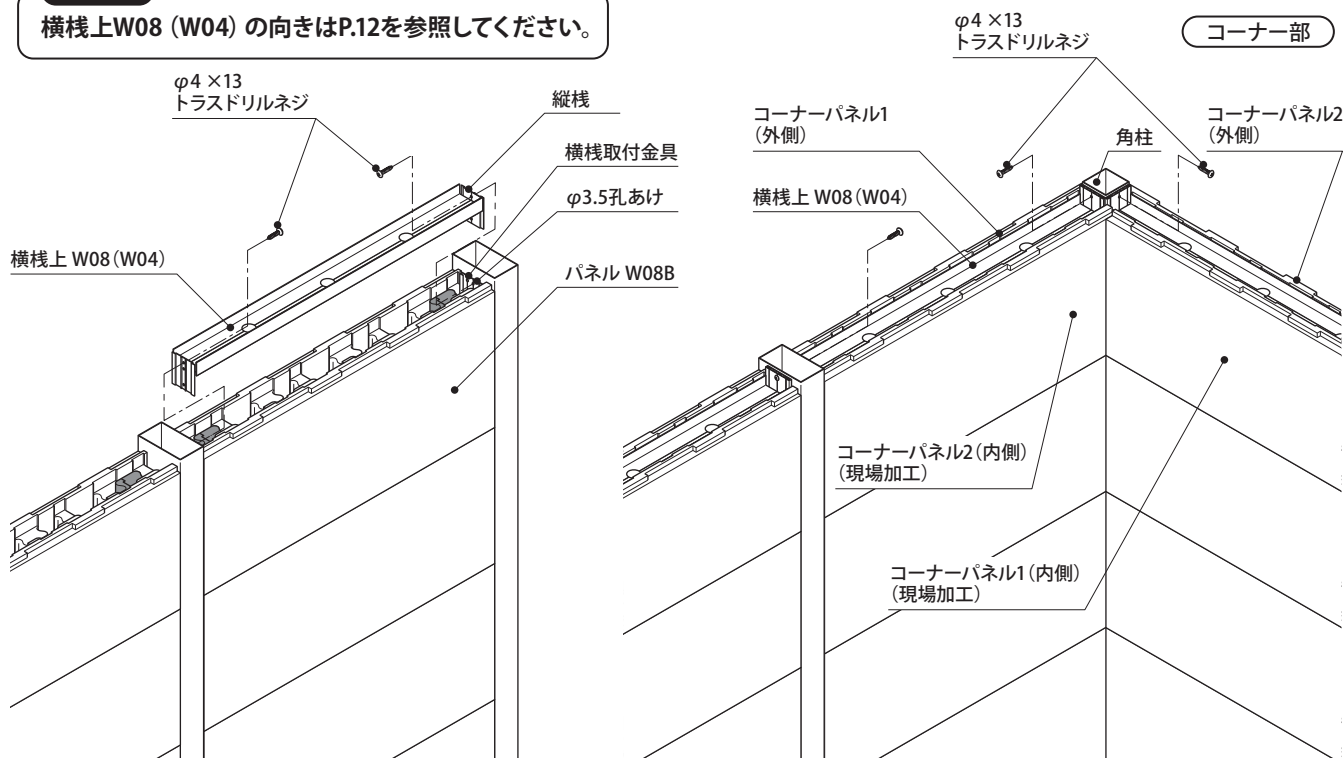
8.横棧上W08 (W04) の組付

- ①最上部のパネルは横棧上W08 (W04) で固定します。
横棧上W08 (W04) の上下を確認し柱間に上から水平にスライドさせ、
柱に付いている横棧取付金具に入れてください。
- ②縦棧にあいている孔に合わせて柱にφ3.5の孔をあけ、
φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。

参 照

横棧上W08 (W04) の向きはP.12を参照してください。

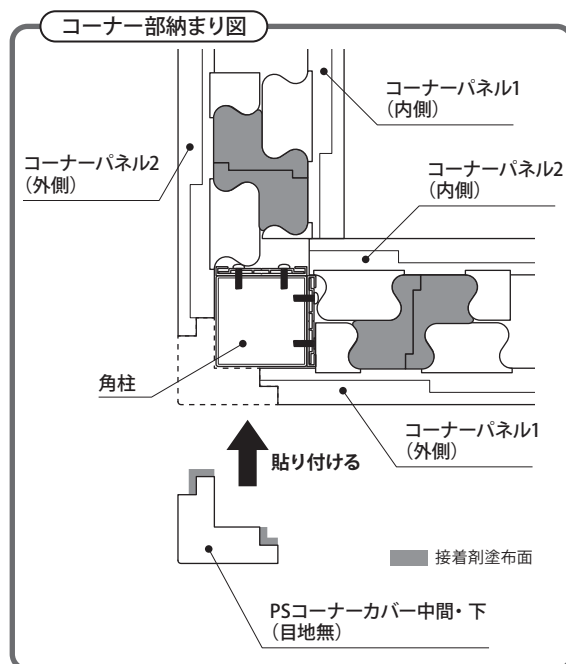
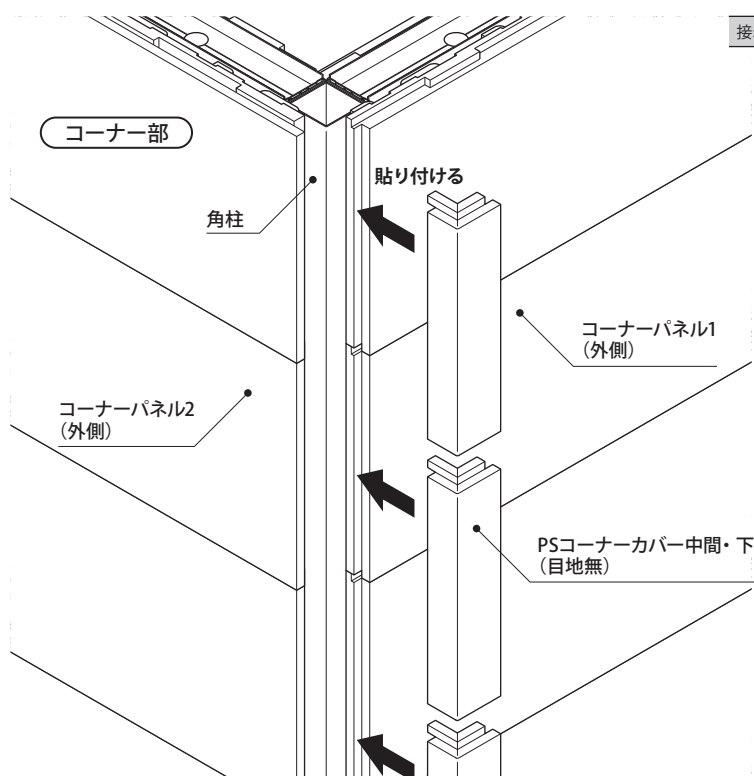
部材名	梱包名称
横棧上W08	A型横棧上・ベース材W08セット
横棧上W04	A型横棧上・ベース材W04セット



9.PSコーナーカバー中間・下 (目地無) の貼付け

- ①PSコーナーカバー中間・下 (目地無) の接合部に接着剤を塗り、
パネル側面に貼り付けてください。

部材名	梱包名称
PSコーナーカバー中間・下 (目地無)	PSコーナーカバー中間・下 現場貼り仕上用 (目地無) (1個入) セット
接着剤	接着剤セット



4.本体の施工〈現場貼り仕上用〉

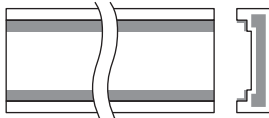
10.PS笠木B W08 (W04)・PSコーナー笠木の貼付け

- ①PS笠木B W08 (W04)・PSコーナー笠木に接着剤を塗り、パネルの上に貼り付けてください。

ご注意

柱の上面とPS笠木Bの上面を合わせて貼り付けてください。合わない場合は、状態により下記処理を行ってください。

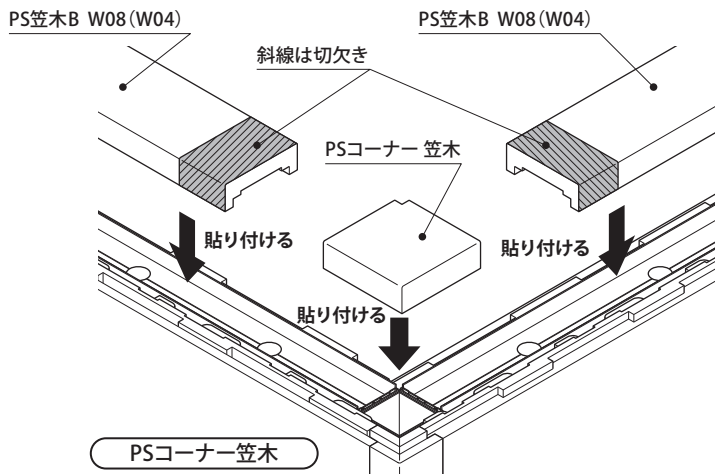
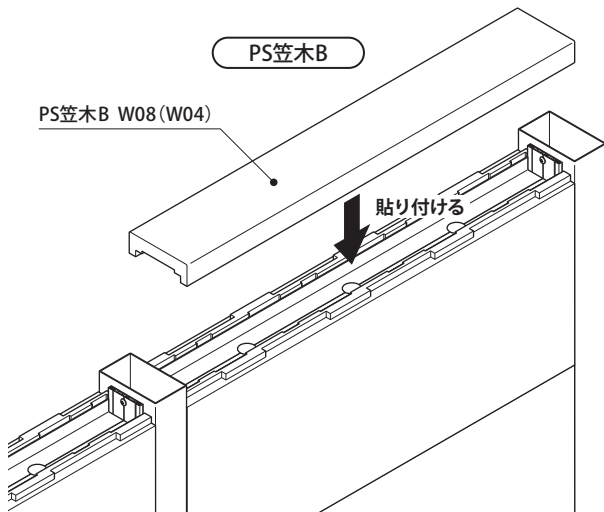
●PS笠木Bの接着剤塗布場所について



■ 接着剤塗布面

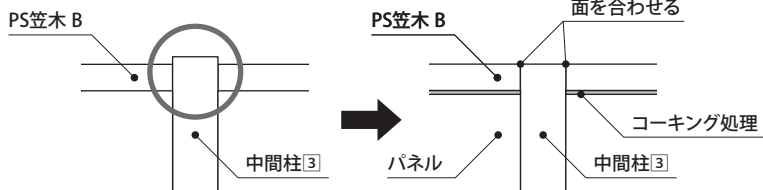
部材名	梱包名称
PS笠木B W08	PS笠木B 現場貼り仕上用W08セット
PS笠木B W04	PS笠木B 現場貼り仕上用W04セット
PSコーナー笠木	PSコーナー笠木 現場貼り仕上用セット
接着剤	接着剤セット

- ②PSコーナー笠木の両端に連結するPS笠木Bはカットが必要です。PSコーナー笠木取り付け後、最後に隙間寸法に合わせカットし組み付けてください。



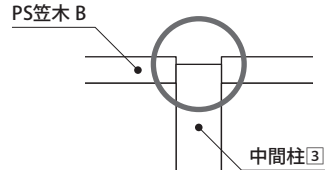
PS笠木Bと柱上面が合わない場合の処理方法

〈PS笠木Bより柱が出る場合〉



- 柱上面とPS笠木Bの上面とを合わせてください。
- PS笠木Bとパネルの隙間はコーキング処理してください。

〈柱よりPS笠木B出てる場合〉



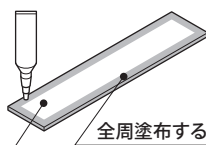
- そのままPS笠木Bを貼り付け、PS笠木カバーを貼付けた後、柱とPS笠木カバーの隙間にコーキング処理してください。(4-11参照)

11.PS笠木カバーの加工及び貼付け

- ①PS笠木B・PSコーナー笠木を組み付け後、PS笠木Bの幅に合わせて、アクセントパネル+10より加工し、接着剤にてPS笠木Bの上に貼り付けてください。
- 接着剤は弊社規格品もしくは市販の変成シリコン系接着剤（推奨品：コニシ社 MPX-1・エフレックス、セメダイン社 PM525）を使用してください。

ご注意

PS笠木カバーの切断・貼付け方法等は、アクセントパネル同梱の取付説明書を参照してください。



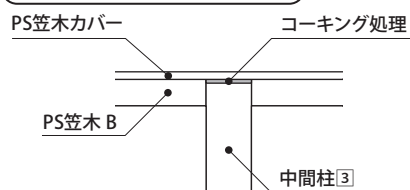
PS 笠木カバー
(アクセントパネル +10 現場カット)

部材名	梱包名称
アクセントパネル(+10) 生地	アクセントパネル(+10) (1枚入り) 生地
アクセントパネル(+10) 生地	アクセントパネル(+10) (2枚入り) 生地
アクセントパネル(+10) 生地	アクセントパネル(+10) (3枚入り) 生地
接着剤	接着剤セット

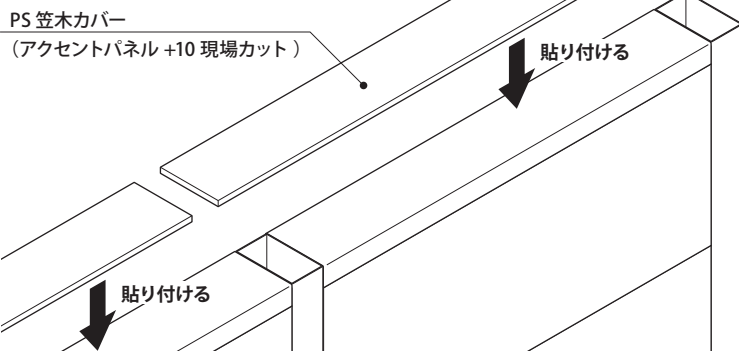
実測寸法



PS笠木カバーの貼付け



- PS笠木カバーを貼り付けた後、柱とPS笠木カバーの隙間にコーキング処理してください。



5.本現場切詰め200ピッチ〈現場貼り仕上用〉

本現場切詰めの場合、柱位置の変更及び部材・部品の加工が必要となります。下記参照してください。

1.柱位置の変更

() 寸法は柱ピッチ400mmの場合です。

- パネルの形状の関係で切断寸法は200mmピッチでの切詰めになります。下記参照にて切詰めを行って下さい。
- 切詰め寸法により柱の位置が変わります。下記参照にて柱の位置を移動させてください。

■柱ピッチ800の場合

A(本体切詰め寸法)	B(柱ピッチ)	C(柱移動寸法)
200 mm	①600 mm	200 mm
400 mm	②400 mm	400 mm
※1 600 mm		

- ※1 本体切詰め寸法600mmの場合、隣のスパン(柱ピッチ800mm)で200mm切詰めし(柱移動200mm)、残りの400mm(柱移動400mm)を端部スパンで切詰めしてください。端部スパンのみで600mm切詰めると横棧のネジ固定ができなくなります。

参 照 下記〈柱ピッチ800(400)mmで600(200)mm切詰める場合〉

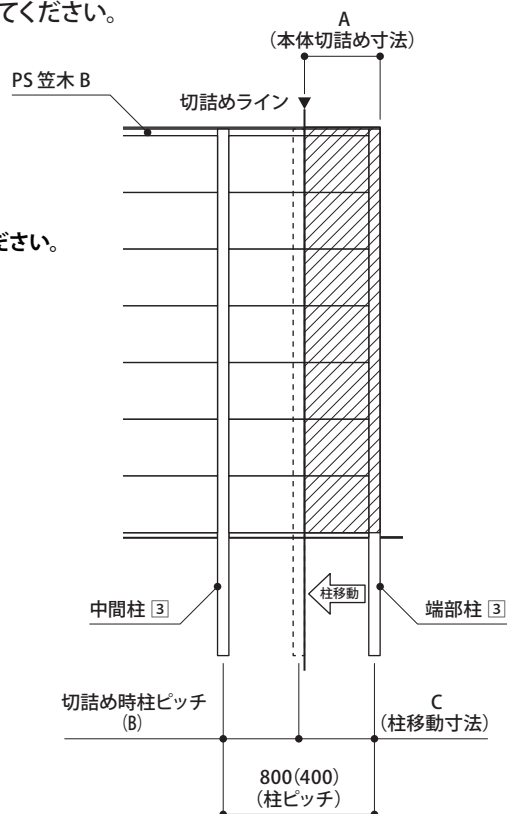
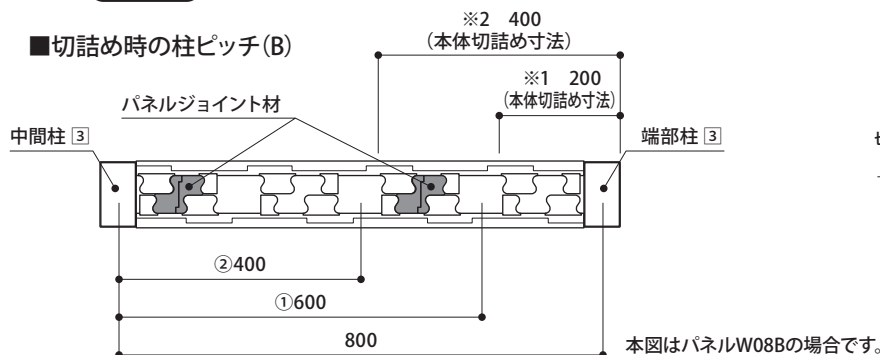
■柱ピッチ400の場合

A(本体切詰め寸法)	B(柱ピッチ)	C(柱移動寸法)
※4 200 mm		

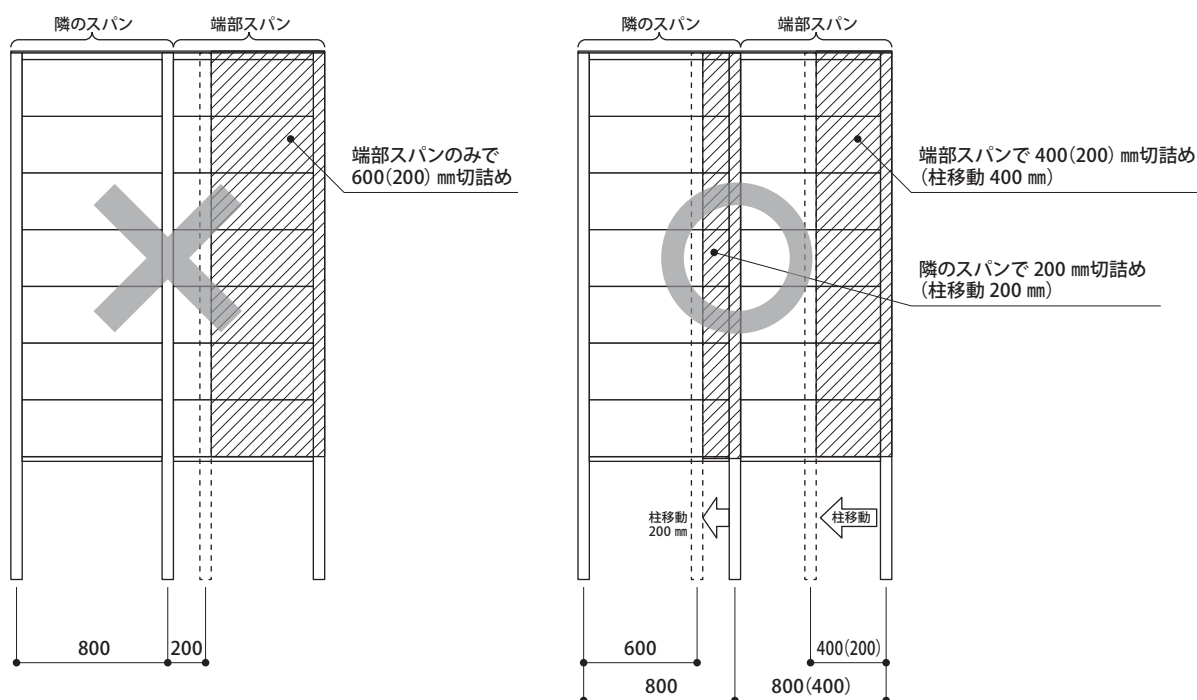
- ※4 本体切詰め寸法200mmの場合、隣のスパン(柱ピッチ800mm)で200mm切詰めしてください。(柱移動200mm)
端部スパンで200mm切詰めると横棧のネジ固定ができなくなります。

参 照 下記〈柱ピッチ800(400)mmで600(200)mm切詰める場合〉

■切詰め時の柱ピッチ(B)



柱ピッチ800(400)mmで600(200)mm切詰める場合



この場合、隣のスパンのパネル・PS笠木・横棧上・横棧・ベース材も200mm切詰めてください。 **参 照** P.18

5.本体現場切詰め200ピッチ〈現場貼り仕上用〉

本体切詰め寸法に合わせ、端部のスパン（※1 隣のスパン）に使用する部材・部品の加工を行ってください。

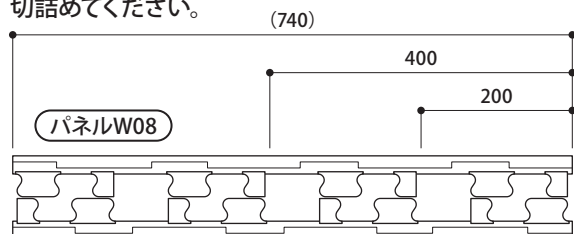
2.部品・部材の加工

※1 柱ピッチ800mm（400mm）で600mm（200mm）切詰めする場合は、隣のスパンとの組み合わせでの切詰めになります。

1.パネルの切詰め（W08・W04）

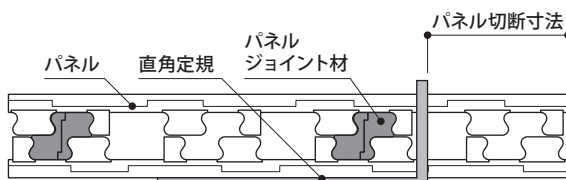
本図はW08の場合です。

右記マーキング後に、各パネルの2ヶ所に入っているジョイント材を外し、基点より切詰め寸法を出し、下記方法にてパネルを切詰めてください。



●パネルのマーキング

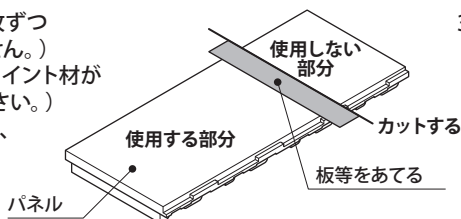
パネルをカットする場合、パネルを組んだ状態で下図のように切断位置を表裏に直角定規等でマーキングしてください。



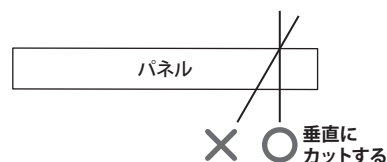
●パネルの切詰め方法

- 1.パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつ切断してください。（上からは抜けません。）
（切断する時は傷防止の為、パネルジョイント材が入っていた方を下にして加工してください。）
- 2.上記にて寸法を出して罫書き線を引き、板等をあてて目の細かいのこぎり等でカットしてください。

※パネルジョイント材を組み付けた際、パネル両パネルのカット面に段差が出ないように切断してください。



- 3.真っ直ぐ垂直にカットしてください。

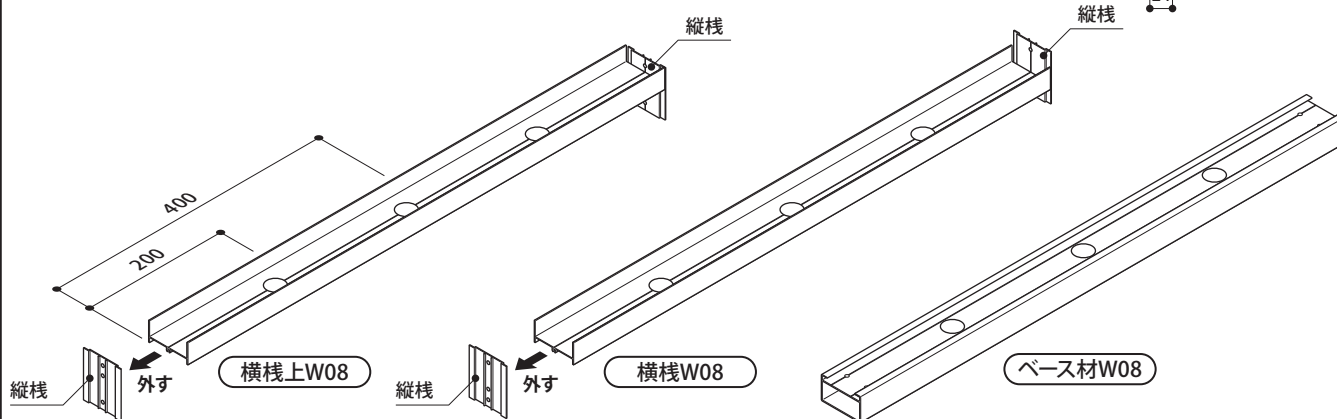
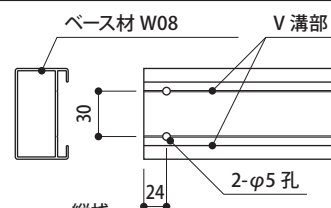


本図はパネルW08Bの場合です。

2.横桟上W08・横桟W08・ベース材W08の切詰め

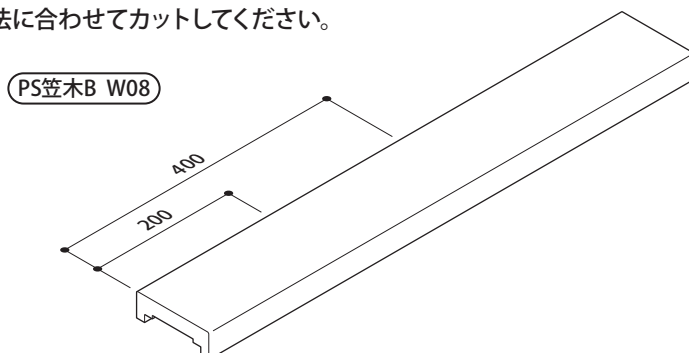
- ①横桟W08と横桟上W08は縦桟を外してカットしてください。カット後、同じ向きでタッピングホールにネジ止めになります。

- ②ベース材W08はカット後、端部から24mmのところにV溝部2ヶ所にφ5孔加工してください。



3.PS笠木B W08の切詰め

- 切詰め寸法に合わせてカットしてください。



6.本現場切詰め（フリー）〈現場貼り仕上用〉

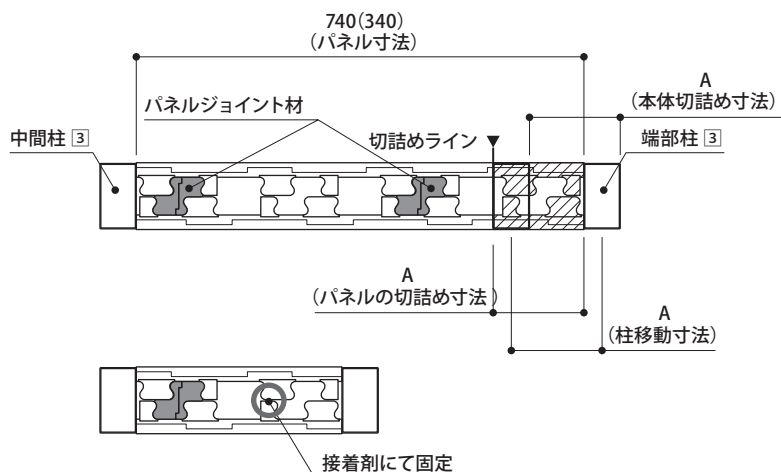
本現場切詰め（フリー）の場合、柱位置の変更及び部材・部品の加工が必要となります。下記参照してください。

1.柱位置の変更

() 寸法は柱ピッチ400mmの場合です。

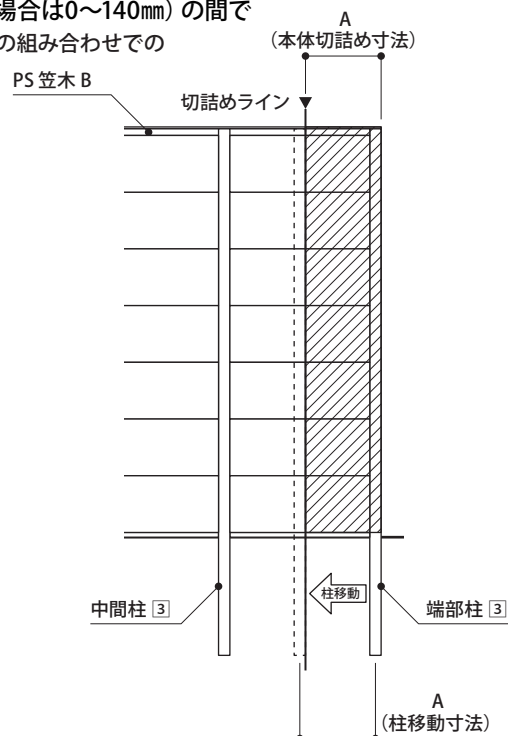
- パネルの切詰めは、柱ピッチ800mmの場合は0～540mm（柱ピッチ400mmの場合は0～140mm）の間でフリーに切詰めできます。この寸法を超える切詰めの場合は、隣のスパンとの組み合わせでの切詰めになります。（下記参照）

※本体切詰め寸法と柱移動寸法、パネルの切詰め寸法は同じになります。



ご注意

パネルジョイント材が1ヶ所になる場合は、上図の部分に接着剤を塗布し固定してください。



540 (140) mm以上で切詰める場合

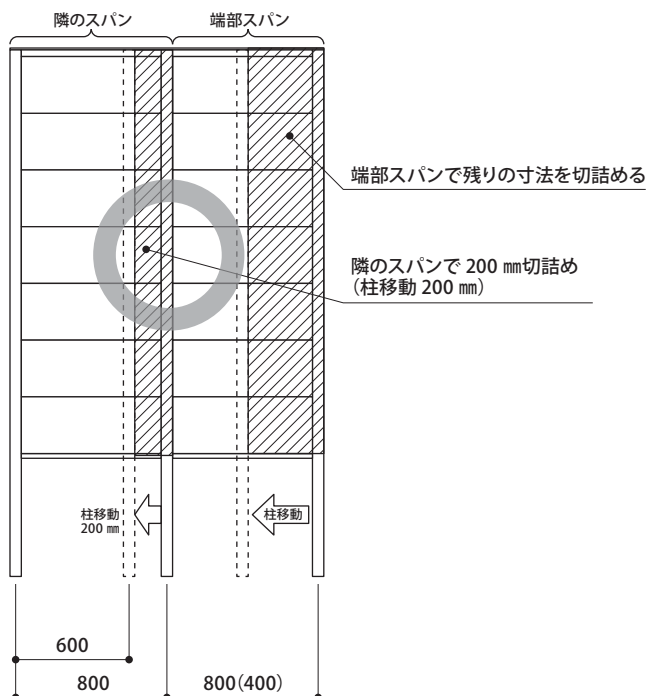
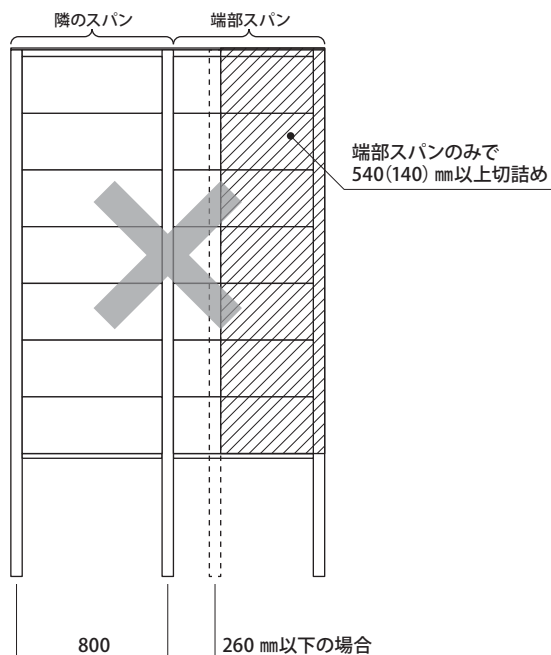
- 柱ピッチ800の場合
隣のスパンで200mm切詰めし、（柱移動及びパネルの切詰め）残りを端部スパンで切詰めしてください。
- 柱ピッチ400の場合
隣のスパンのみで切詰めしてください。

ご注意

1スパンで540 (140) mm以上切詰めると、横桟及び横桟上のネジ固定できない可能性があります。

ご注意

端部パネルの切詰め寸法は、本体切詰め寸法-200mm（柱移動寸法）となります。



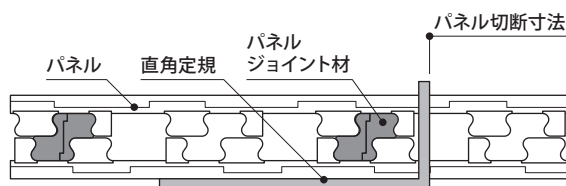
6.本体現場切詰め（フリー）〈現場貼り仕上用〉

2.部品・部材の加工

1.パネルの加工

●パネルのマーキング

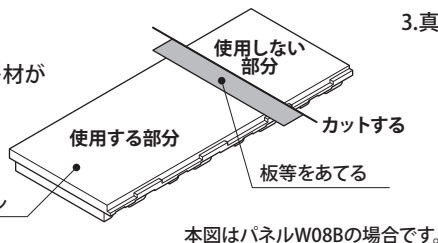
パネルをカットする場合、パネルを組んだ状態で下図のように切断位置を表裏に直角定規等でマーキングしてください。



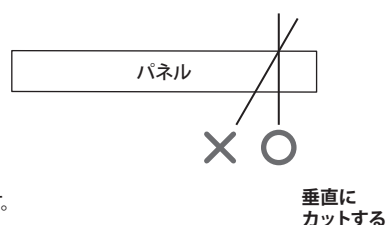
●パネルの切詰め方法

1. パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつ切断してください。（上からは抜けません。）
（切断する時は傷防止の為、パネルジョイント材が入っていた方を下にして加工してください。）
2. 上記にて寸法を出して罫書き線を引き、板等をあてて目の細かいこぎり等でカットしてください。

※パネルジョイント材を組み付けた際、パネル両パネルのカット面に段差が出ないように切断してください。

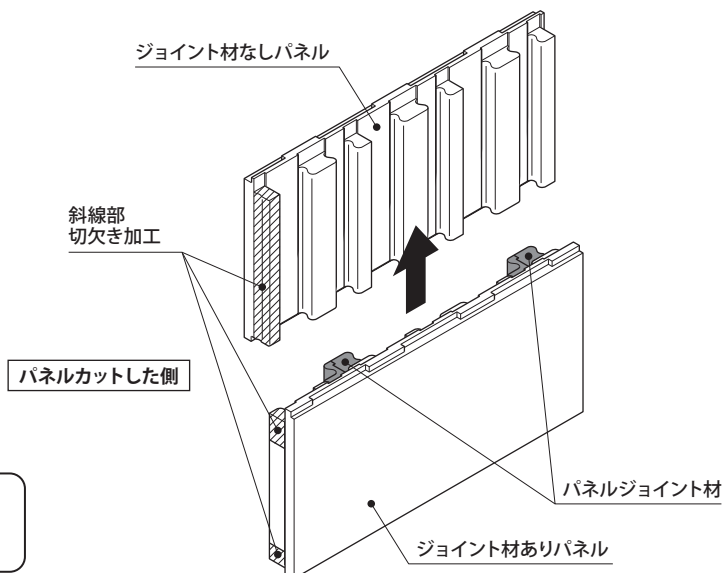


3. 真っ直ぐ垂直にカットしてください。



●パネルの嵌合部の加工

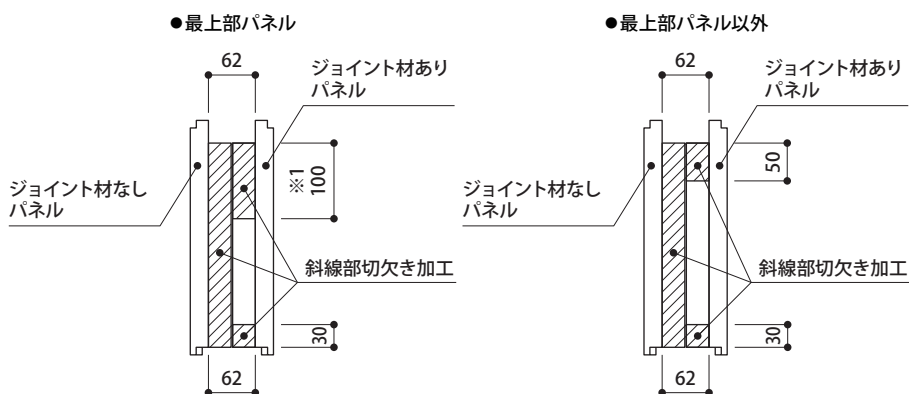
切詰め寸法により柱についている横棧取付金具とパネルの嵌合部が干渉する場合があります。その場合、パネルジョイント材を下から抜いて1枚ずつパネルをカットした後、カット面に切欠き加工してください。（下記参照）縦枠と干渉しない場合、加工は必要ありません。



ご注意

※1 最上部パネルの加工は他のパネルと違います。（上記最上部パネルの加工図参照）

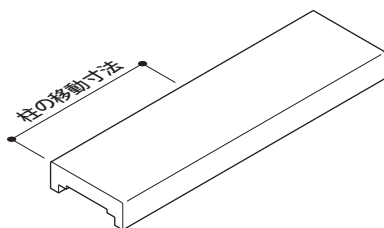
パネル嵌合部の加工図



6.本体現場切詰め（フリー）〈現場貼り仕上用〉

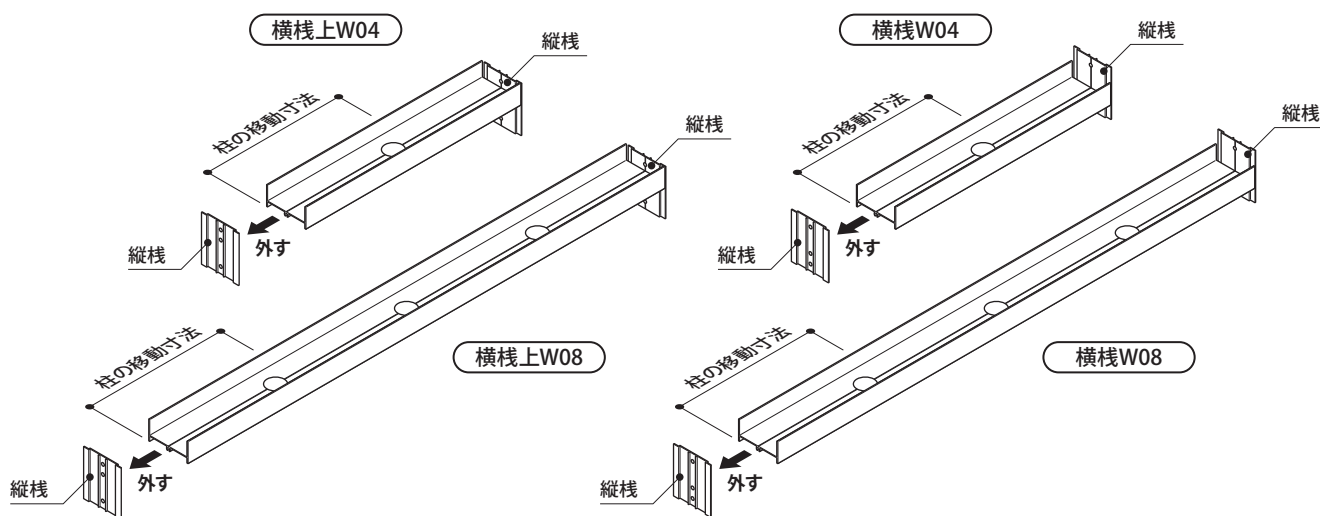
2.PS笠木Bの切詰め

①柱の移動寸法に合わせてカットしてください。

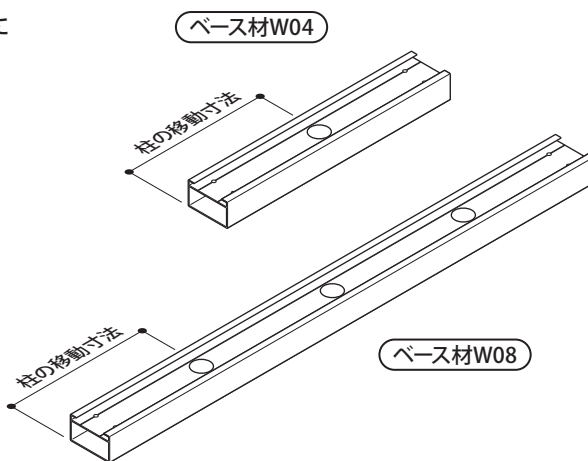
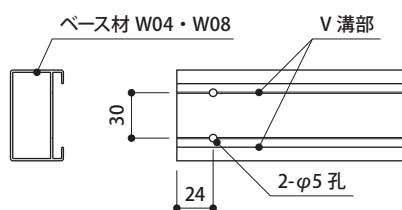


3.横棧上 (W04・W08) ・横棧 (W04・W08) ・ベース材 (W04・W08) の切詰め

①横棧 (W04・W08) と横棧上 (W04・W08) は縦棧を外して、柱の移動寸法に合わせてカットしてください。
カット後、同じ向きでタッピングホールにネジ止めになります。



②ベース材 (W04・W08) はカット後、端部から24mmのところにV溝部2ヶ所にφ5孔加工してください。



ご注意

基本は片側カットですが、切詰め寸法が下記範囲の場合、
孔と干渉する為、片側100mmカットし残りを反対側でカットしてください。



本図はW08の場合です。

■両端の切詰めが必要な場合

本体切詰め寸法	片側切詰め寸法	A(反対側切詰め寸法)
140～180 mm	100 mm	本体切詰め寸法 -100 mm
340～380 mm		

7. 照明・インターホンの配線及び取付〈現場貼り仕上用〉

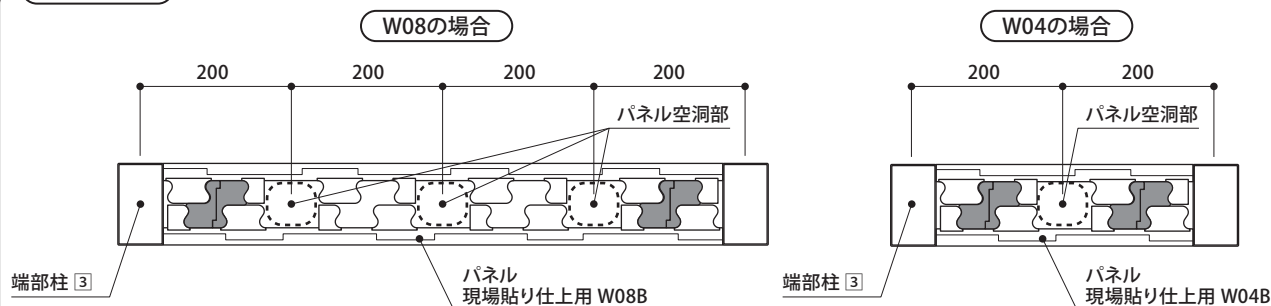
ご注意

配線は本体組み付け時に同時に行ってください。(本体組み付け後では、配線できません。)

1. 取付位置

① 照明、インターホン取り付け位置は、配線可能なパネル空洞部になります。(下記参照)

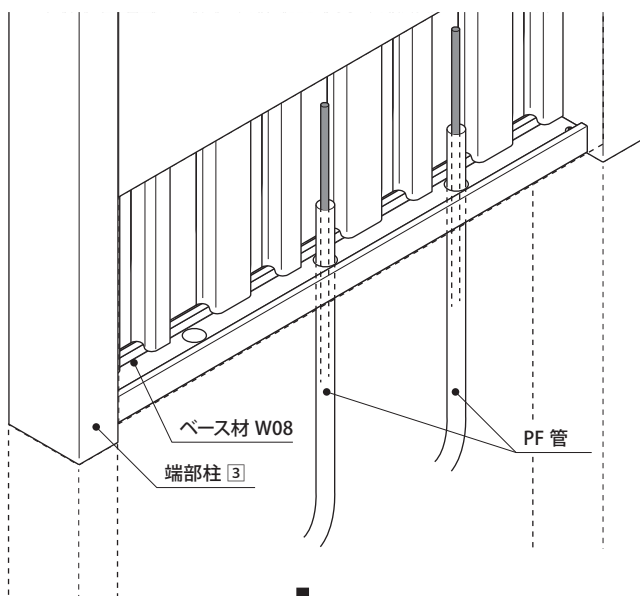
横断面図



2. 配線

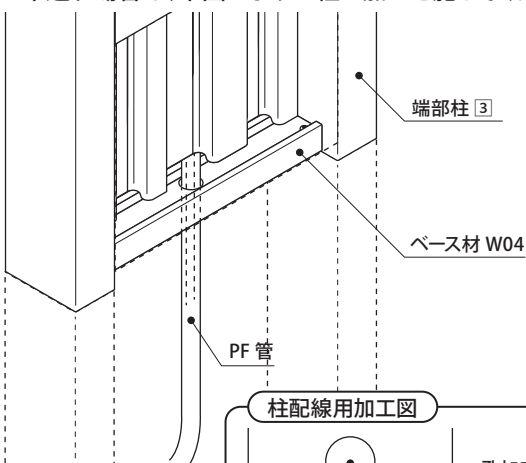
W08の場合

PF管を3本までベース材に通すことが可能です。

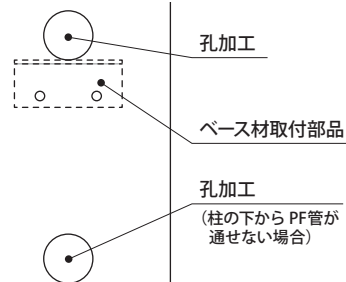


W04の場合

PF管を1本ベース材に通すことが可能です。
2本通す場合は、下図のように柱に加工を施してください。

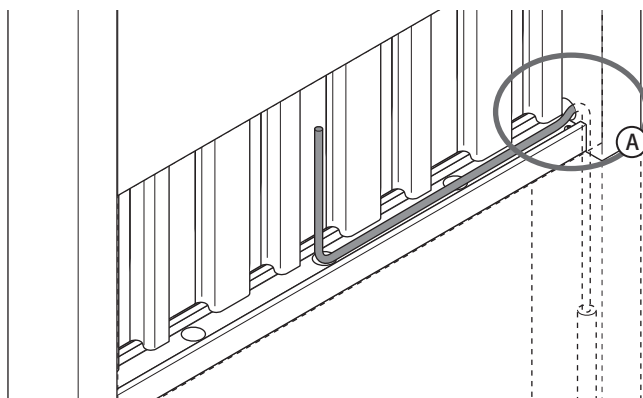


柱配線用加工図



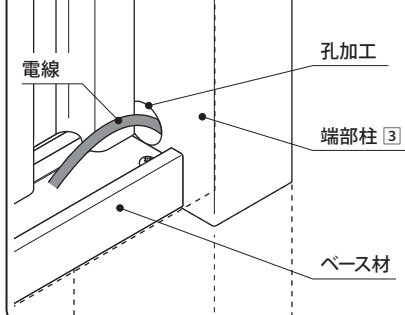
柱の孔加工

ベース材取付部品(A型横棧上・ベース材W08(W04)セット)を柱につけてから部品の上に孔をあけ、電線を通します。又、柱の下からPF管を通せない場合は、柱にPF管を通す孔をあけて電線を通してください。



A部拡大図

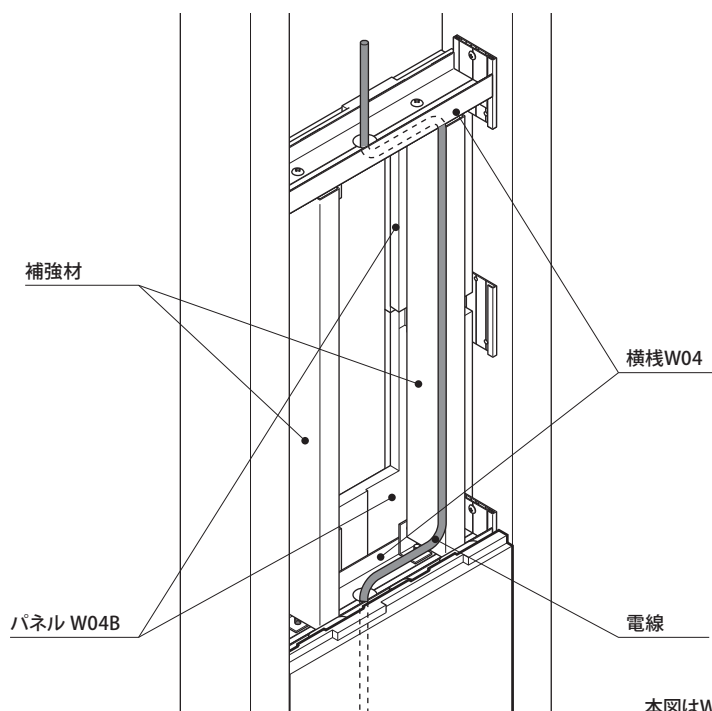
先に孔加工した孔から、電線を通します。



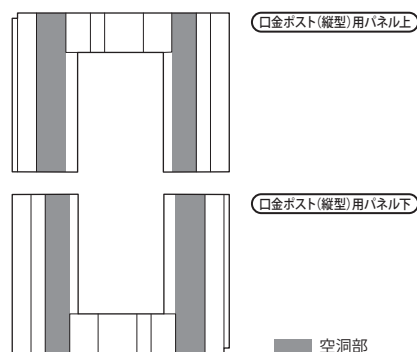
7.照明・インターホンの配線及び取付〈現場貼り仕上用〉

ポストがある場合

縦方向はパネルの縦空洞部、横方向は横空洞部（横棧部）を利用して配線してください。



●縦空洞部



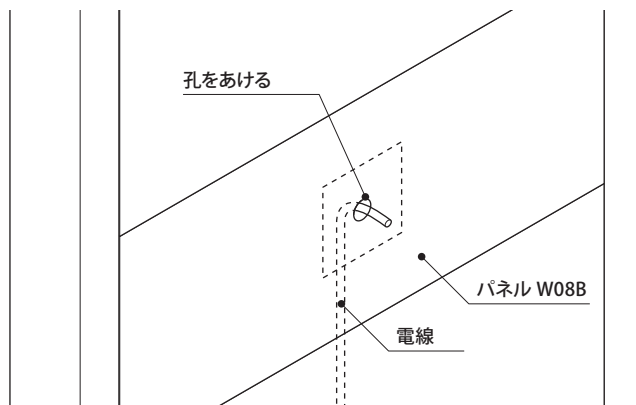
ご注意

ポストは石材・タイル等を貼り付ける前に組み付けてください。

本図はW04口金ポスト(縦型)の場合です。

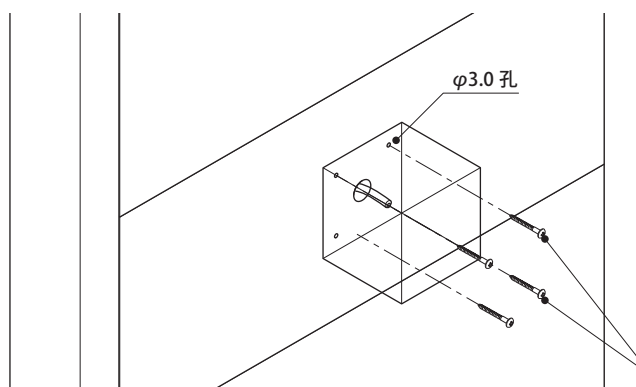
3.電線のパネルからの取出し

- ①照明・インターホン取付け位置からパネルに孔をあけ、電線は外に出しておいてください
(取り付け後では、パネルの外に電線を出すことはできません。)



4.照明・インターホンの取付

- ①照明・インターホンの取付け孔に合わせてパネルにφ3.0の孔をあけ、照明・インターホン取り付けネジφ4.1×38ナベ木ネジに、発泡材用接着剤（弊社規格の接着剤）をネジ部に付け固定してください。

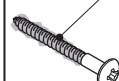


φ4.1×38ナベ木ネジ
A型端部柱 (2本入) セット

木ネジ

接着剤を塗布してください。

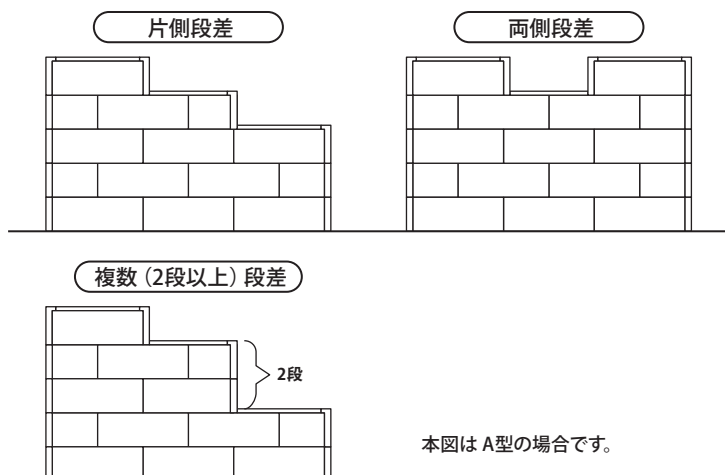
発泡材用接着剤



φ4.1×38ナベ木ネジ

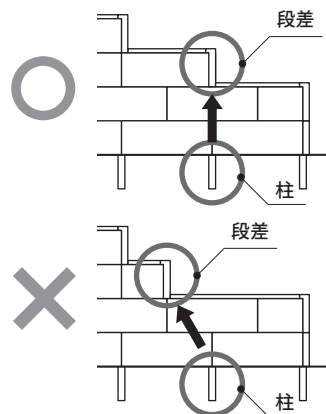
8. 段差仕様〈現場貼り仕上用〉

1. 対応可能段差形状について



ご注意

段差は、必ず柱のある位置で行ってください。



2. 部材の加工及び組付

柱を建てる前に、段差部に使用する中間柱③ (段差中間柱③) 及び端部柱③ (段差端部柱③) に下記の加工を行ってください。

① 段差部端部柱③の加工

- 低い方に使用する端部柱③を段差数に合わせ、埋め込み側からカットしてください。(300×段差数)
- カットした端部柱③にベース材取付金具用の孔及び、水抜き孔をカットしない端部柱③と同じ位置 (下から) にあけてください。

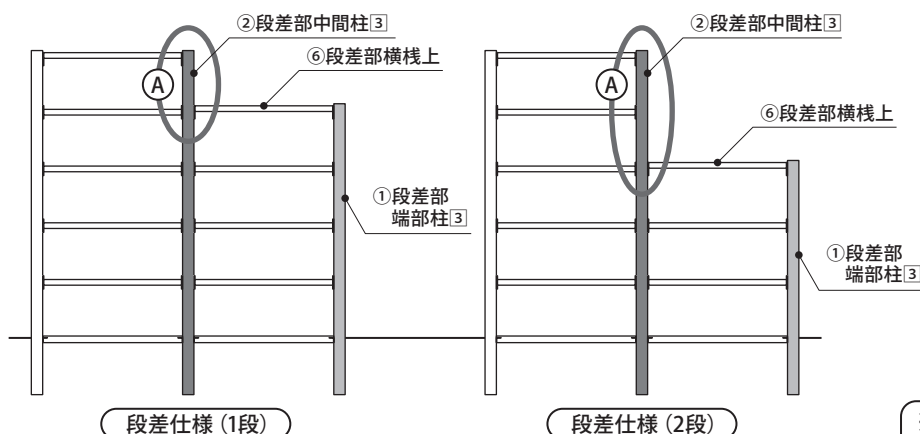
② 段差部中間柱③の部品の取り外し

- 段差部に使用する中間柱③の上部に付いている、笠木受け取付部品 2個のうち段差側のみ1個取り外してください。
- 横棧取付金具を段差数に合わせて取り外してください。
(1段の場合…最上部1個、2段の場合…最上部から2個)

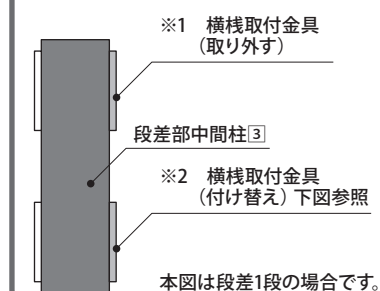
ご注意

段差部柱は必ず中間柱③を使用してください。

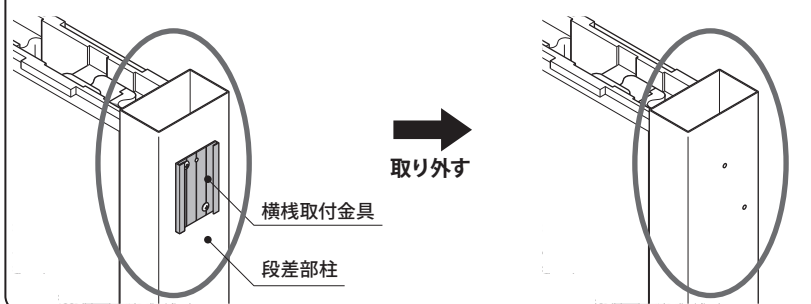
本図は A 型の場合です。



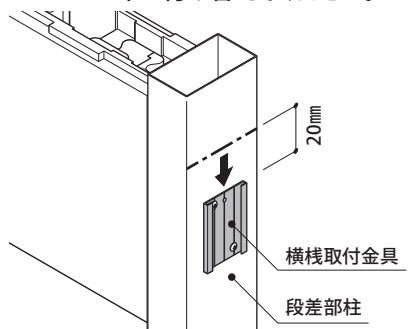
A部拡大図



※1 横棧取付金具の取り外し



※2 段差部横棧取付金具の付け替え 横棧上用の横棧取付金具を外し、 20mm下に付け替えてください。

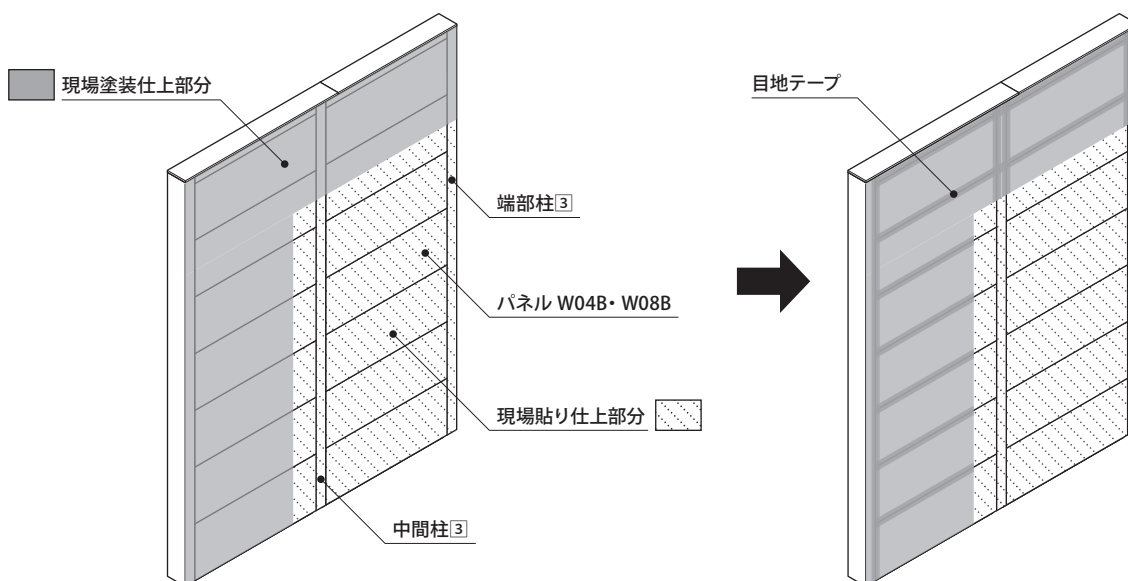


9.部分的に塗装仕上をする場合〈現場貼り仕上用〉

目地テープの貼付け

- 塗装の亀裂や剥がれ防止のため各部材の接合部に目地テープを貼り付け後、コーキング材を目地テープの上から塗り付けてください。
- アクセントパネルを取り付けける場合、目地テープはアクセントパネル組み付け後、貼り付けてください。
(アクセントパネルの取り付けは、アクセントパネル同梱の取付説明書を参照ください。)
- 寸法公差 (ばらつき) の為、接合部に隙間・段差が発生する場合があります。
この場合は、目地テープの上からコーキングで隙間・段差をなくしてください。
コーキングは変成シリコン系ノンブリードタイプを使用してください。
- 目地テープの段差が出ないように2度塗りしてください。
(1度塗りですと乾燥後に、目地テープの段差が出る場合があります。)

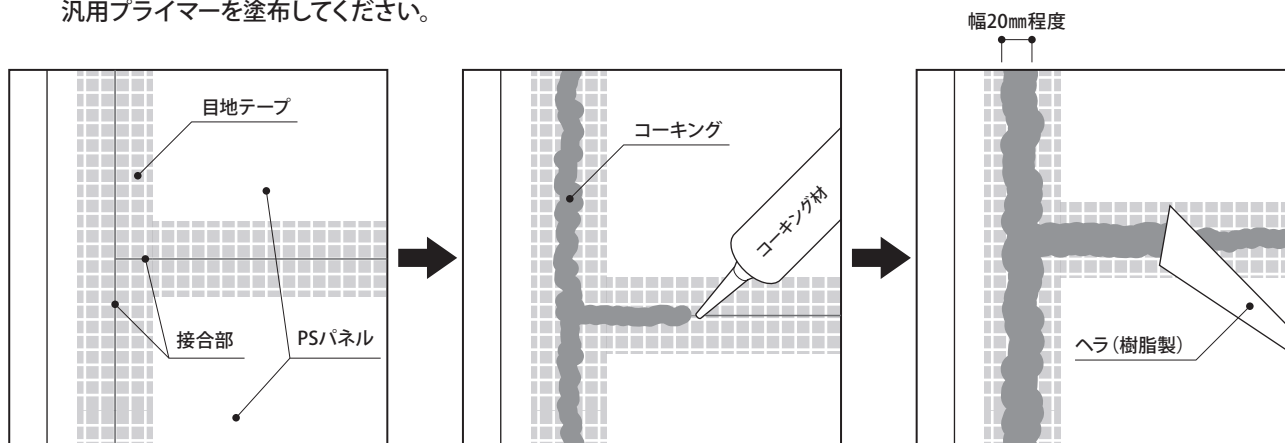
- 下の図のように各部材の接合部に目地テープを貼り付けてください。



部材名	梱包名称
目地テープ	目地テープセット



- 貼り付けた目地テープの上からパネル接合部にコーキング材を塗ってください。
※この時に段差や隙間は埋めてください。また、コーキング材はノンブリードタイプをご使用ください。
- コーキングを盛った部分をヘラで押さえ、平滑に広げてください。
※コーキング材の拡げ幅は20mm程度になるようにしてください。
※金属製のヘラはPS本体を傷める可能性がありますので、樹脂製のヘラをご利用ください。
※現場貼り仕上で部分塗装の場合、塗装部分に目地テープ貼り付け後、コーキングを塗り、汎用プライマーを塗布してください。



9.部分的に塗装仕上をする場合〈現場貼り仕上用〉

汎用プライマーの塗装

- 塗装仕上をする部分に、当社規格の汎用プライマーを塗布してください。
- 当社汎用プライマー塗布後、塗装仕上をしてください。
※汎用プライマー無で塗装したり、また当社以外の汎用プライマーを使用すると剥離の原因になります。

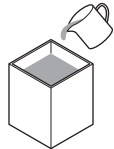
部材名	梱包名称
汎用プライマー (100ml)	汎用プライマー (100ml) ・刷毛セット
刷毛	
汎用プライマー (1.5Kg)	汎用プライマーセット (1.5Kg)
汎用プライマー (15Kg)	汎用プライマーセット (15Kg)

汎用プライマーは骨材が大きく粘度があります。温度により塗装しづらい場合もあります。

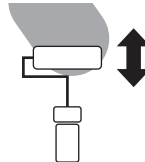
清水もしくは水道水で0～3%に希釈し、十分に攪拌してご使用ください。

1.5kgの場合は清水0～45cc

15kgの場合は清水0～0.4ℓ

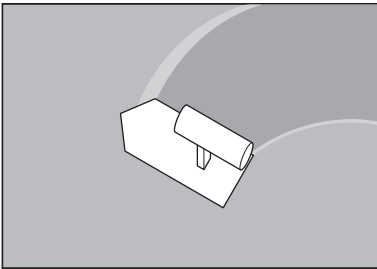


汎用プライマーは擦り付けるように下地になじませ、塗材を置いてくる要領で厚みを持たせて、塗布してください。



- 付属の汎用プライマー100mlで約0.2～0.3㎡塗布できます。
(アクセントパネル小口面 (30mm) だと約7～10㎡塗布できます。)
- 汎用プライマー1.5kgで約2～3㎡塗布できます。
- 汎用プライマー15kgで約20～30㎡塗布できます。
塗装する面積に応じて汎用プライマーセット (100ml・1.5kg・15kg) から選択してください。
- 1.5kg・15kgの汎用プライマーセットには刷毛は付属されていません。別途手配してください。

10.部分的に軽量セメントモルタル仕上をする場合〈現場貼り仕上用〉



- 部材の接合部に目地テープを貼り付け、コーキング材 (ノンブリード) を塗ってください。(P.23参照)
- 軽量セメントモルタルを塗厚5～10mm程度で仕上げてください。
※軽量セメントモルタルはJASS15M-102に適合するものを推奨します。
- 軽量セメントモルタルの施工は、各メーカーの施工説明書を確認しておこなってください。
※当社汎用プライマーの上に、各軽量セメントメーカーの下地処理剤を塗布することは避けてください。
※軽量セメントモルタルの上に、重量タイル等の貼り付けは避けてください。

11.注意事項〈現場貼り仕上用〉

- 本仕様では、H2100で55kg/㎡以下・H2400では10kg/㎡以下の重量まで貼り付けできます。
- 上記重量以上の石材・タイル等の貼り付けはしないでください。
- 石材・タイル等の固定は、接着剤による貼り付けのみになります。金具・モルタル等による貼り付けはできません。
- 石材・タイル・ボード等の貼り付け方法は、それぞれの商品の取付説明書を参照してください。
- 石材・タイル・ボード等を貼り付ける接着剤は、石材・タイル用接着剤を使用してください。
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニッタイ工業社 EY-21/コニシ社 エフレックス
※上記接着剤は弊社にて接着力を確認しております。有機溶剤が含まれていない接着剤を使用してください。
- 接着剤は全面接着で貼り付けてください。
- 接着剤が硬化する前に石材等の貼り材を貼り付けてください。
(接着剤の塗布量・硬化時間は接着剤の取付説明書を参照してください。)

取扱い店名